

# 坂町循環バス利用者及び住民アンケート調査

---

## 目 次

- 1) 調査概要 ..... 1
- 2) 循環バス利用者アンケートの調査結果 ..... 2
- 3) 住民アンケートの調査結果 ..... 2 2

## 1) 調査概要

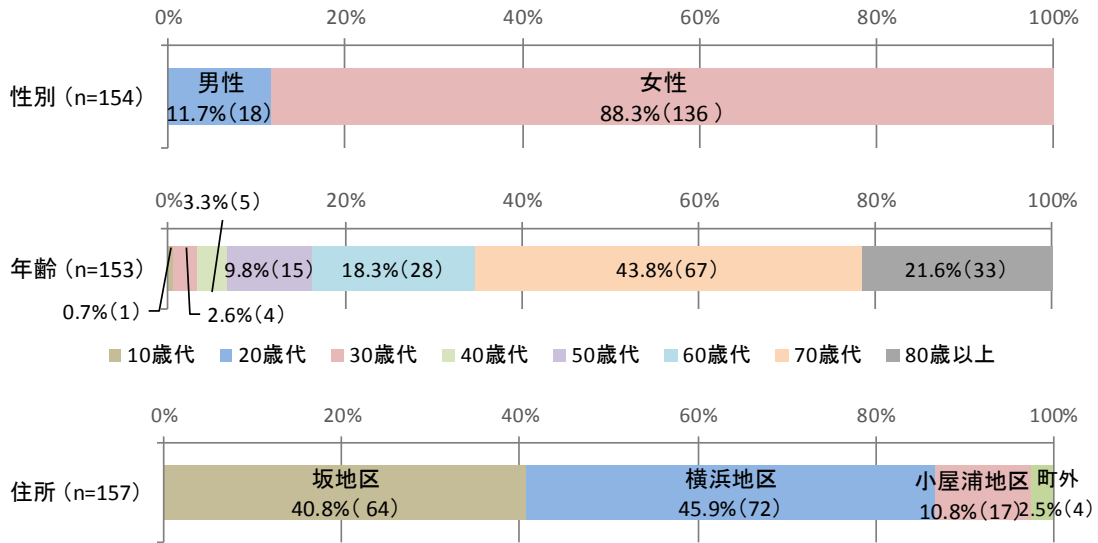
運行内容を変更した坂町循環バスについて、住民等のニーズや利用実態、改善に関する意見等を把握するため、以下に示すアンケート調査を実施した。

### ▼ アンケート調査概要

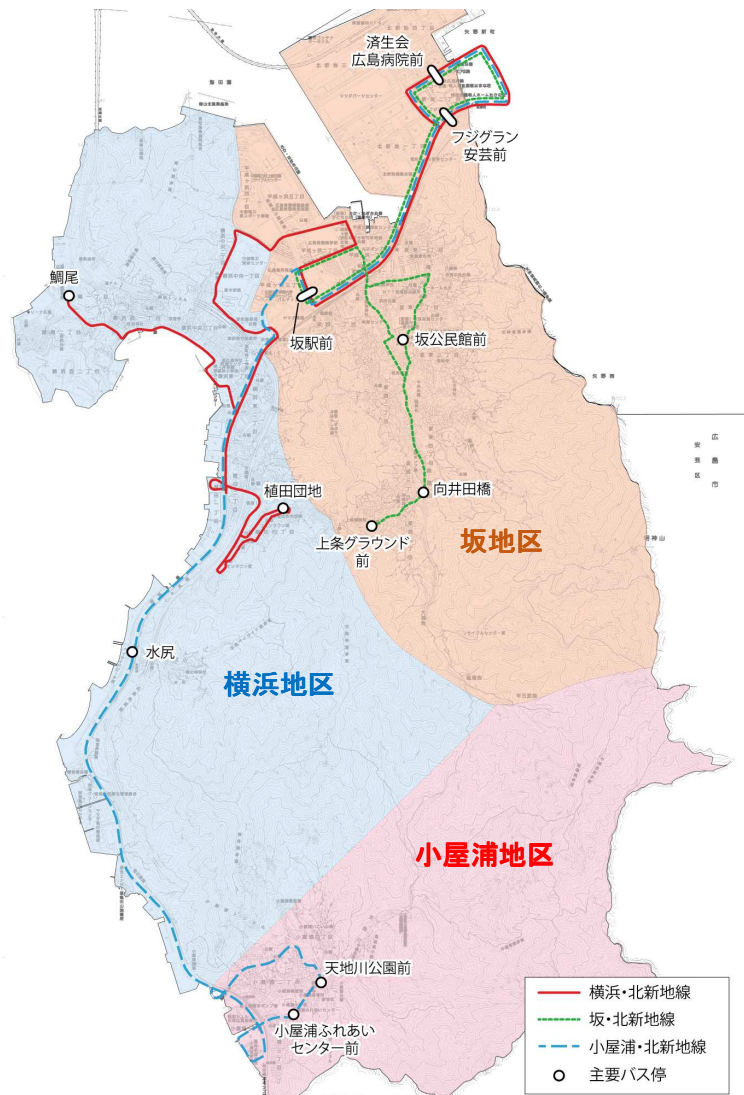
実施調査	実施内容等	
坂町循環バス利用者 アンケート調査	対象者	・ 坂町循環バス利用者
	調査方法	・ 車内留置き配布。郵送回収
	実施日	・ 平成 29 年 8 月 21 日（月）～9 月 16 日（土） ・ 回収〆切：平成 29 年 9 月 25 日（月）
	配布・回収	一坂・北新地線一 ・ 配布：111 票 ・ 回収： 61 票（回収率 55.0%） 一横浜・北新地線一 ・ 配布：151 票 ・ 回収： 66 票（回収率 43.7%） 一小屋浦・北新地線一 ・ 配布： 75 票 ・ 回収： 34 票（回収率 45.3%） 一全路線一 ・ 配布：337 票 ・ 回収：161 票（回収率 47.8%）
住民アンケート調査	対象者	・ 坂町住民
	調査方法	・ 郵送による配布・回収
	実施日	・ 発送：平成 29 年 8 月 21 日（月） ・ 回収〆切：平成 29 年 9 月 25 日（月）
	配布・回収	・ 地区別の人口割合に応じて配布、無作為抽出 一坂地区一 ・ 配布：1,295 票 ・ 回収： 648 票（回収率 50.0%） 一横浜地区一 ・ 配布：848 票 ・ 回収：290 票（回収率 34.2%） 一小屋浦地区一 ・ 配布：357 票 ・ 回収：179 票（回収率 50.1%） 一全地区一 ・ 配布：2,500 票 ・ 回収：1,117 票（回収率 44.7%）

## 2) 循環バス利用者アンケート調査の結果

### (1) 回答者の属性

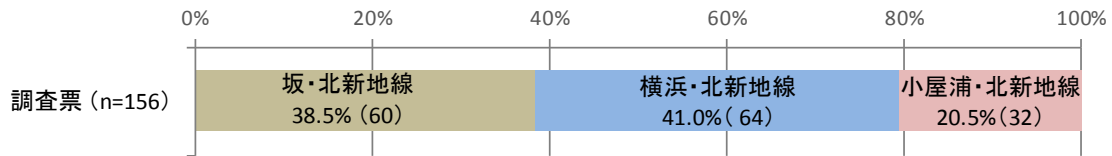


### ▲ 回答者の属性



### ▲ 坂町内のゾーニング

## (2) 回答者の利用路線

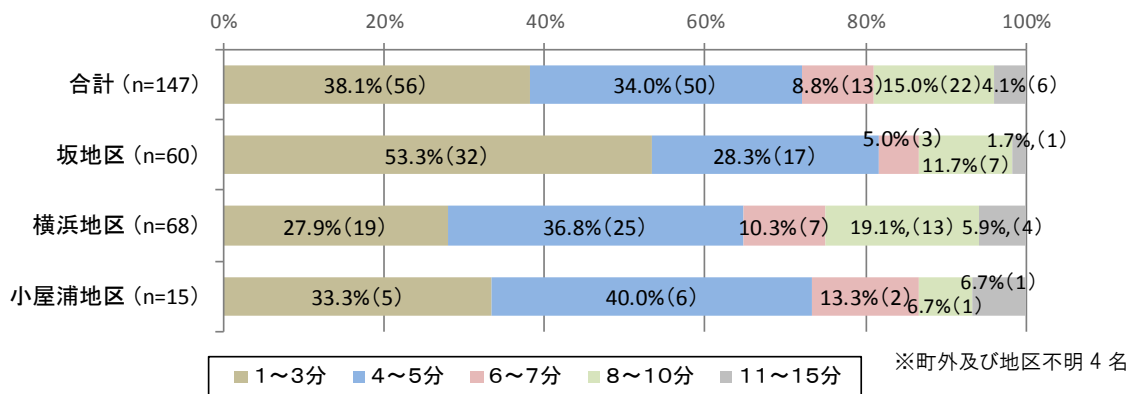


### ▲ 回答者の利用路線

## (3) 自宅からバス停までの徒歩時間

- ・坂町循環バス利用者の自宅からバス停までの徒歩時間は、約 7 割 (72.1%) が 5 分以下、約 9 割以上 (95.9%) 10 分以下となっている。
- ・地区別では、横浜地区が他地区に比べて徒歩時間がやや長い傾向にあるが、9 割以上 (94.1%) が 10 分以内となっている。
- ・高齢者の徒歩時間 10 分は概ね 400m と想定され、坂町循環バスの利用者のほとんどは、自宅からバス停までの距離が 400m 以内であることが伺える。

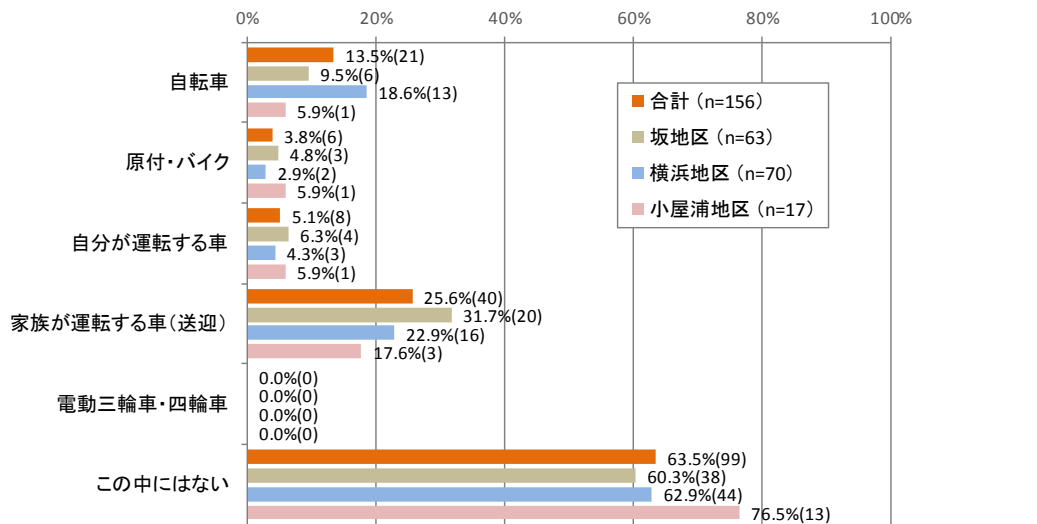
(※ 高齢者の徒歩速度：40m/分：「よくわかる都市の交通/建設省監修 (1988)」より)



### ▲ 自宅からバス停までの徒歩時間

#### (4) 利用可能な交通手段

- ・坂町循環バス利用者の利用可能な交通手段をみると、「自分が運転する車」や「原付・バイク」を挙げる人は地区合計で約3~6%と少数である。
- ・「自転車」を挙げる人は約14%、「家族が運転する車」を挙げる人は約26%となっている。
- ・一方で、6割以上の方は「この中にはない」と回答しており、坂町循環バス利用者の6割以上が、他に交通手段を持たない交通弱者であるといえる。



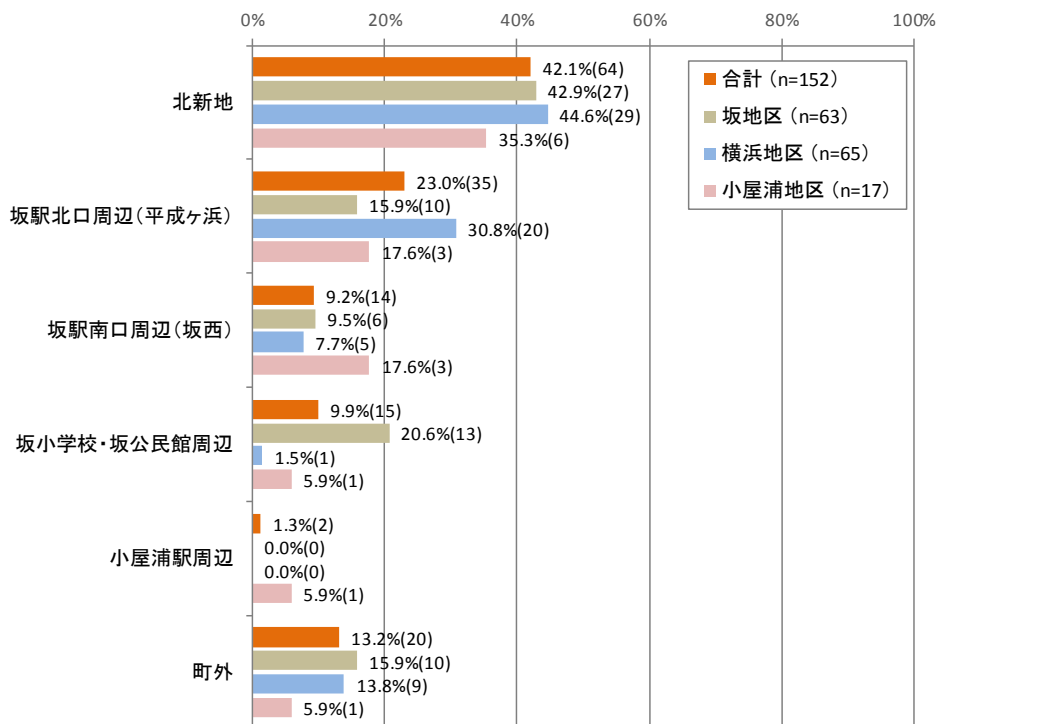
▲ 利用可能な交通手段

※町外及び地区不明 6 名

#### (5) 坂町循環バスの利用状況

##### ① 目的地

- ・坂町循環バス利用者の目的地では、約4割(42.1%)の人が大型店舗や総合病院が立地する「北新地」を挙げている。

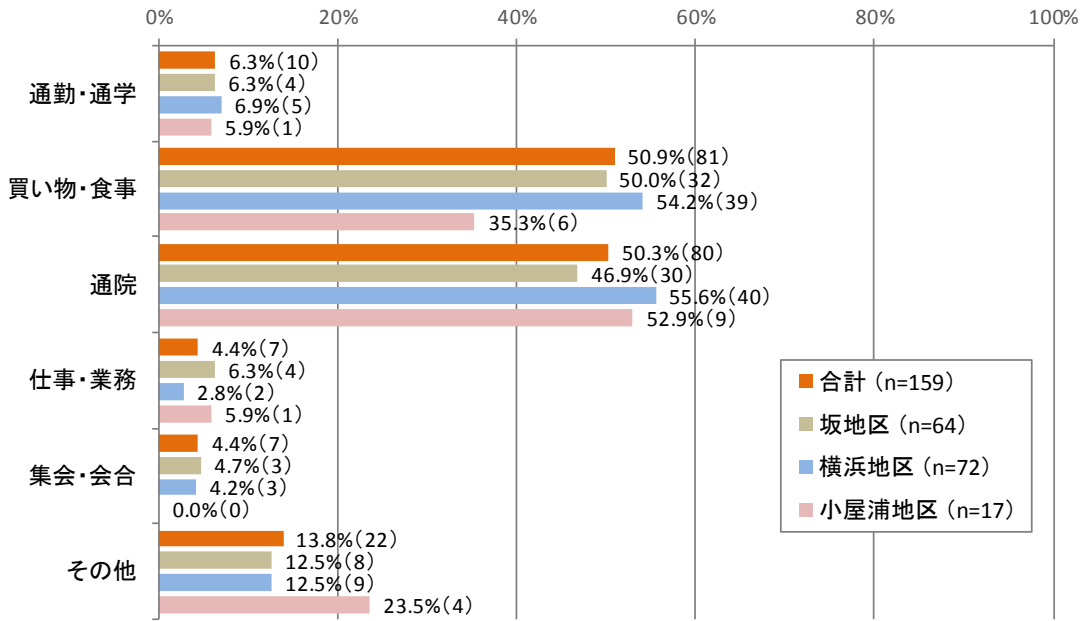


▲ 調査票を受け取った路線

※町外及び地区不明 7 名

## ② 利用目的

・利用目的は、「買い物・食事」および、「通院」を挙げる人が約 5 割と最も多くなっており、これらを目的とする利用が多数を占めている事がわかる。

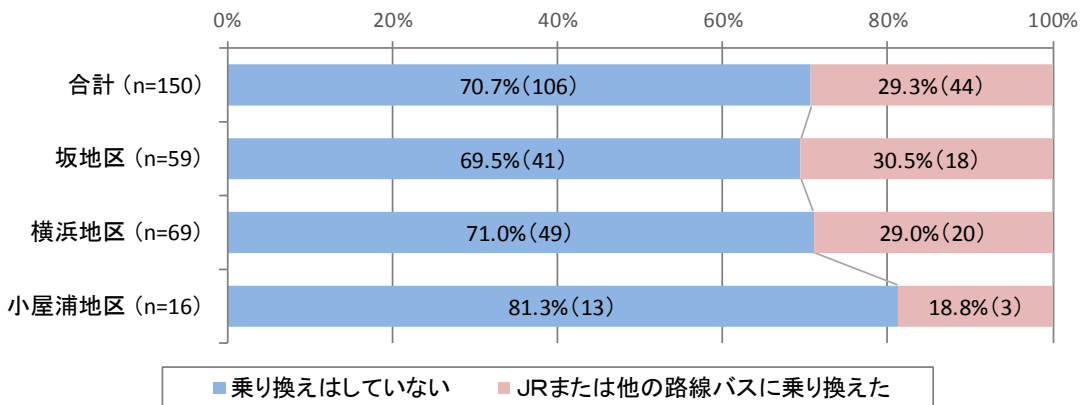


※町外及び地区不明 6 名

### ▲ 坂町循環バスの利用目的

## ③ 乗り換えの有無

・他の公共交通への乗り換え状況をみると、「JR または他の路線バスに乗り換えた」と回答した人は約 3 割 (29.3%) であった。

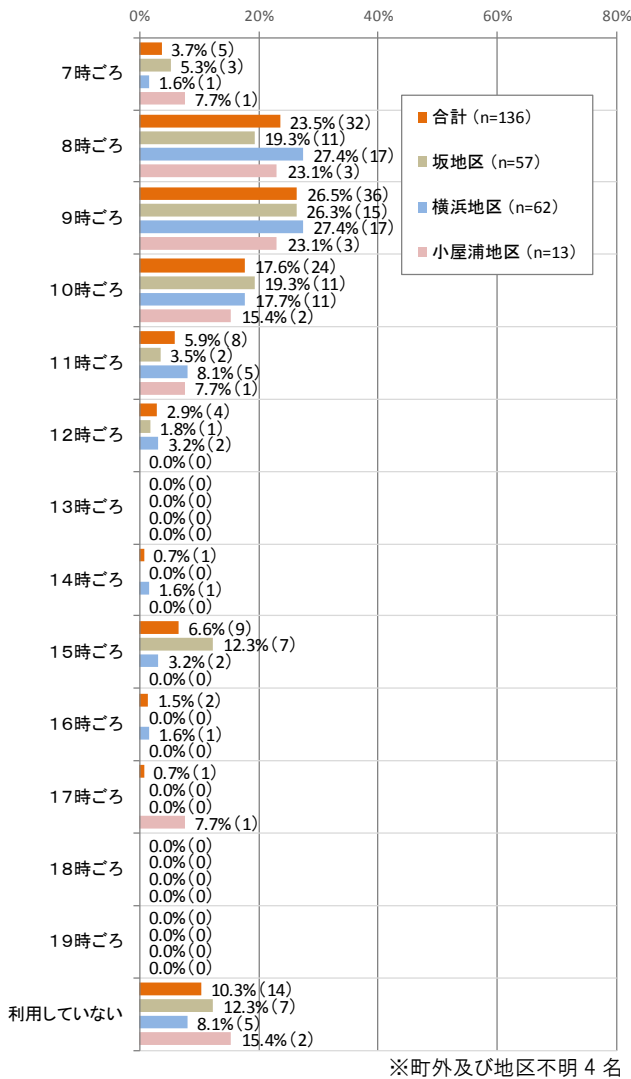


※町外及び地区不明 6 名

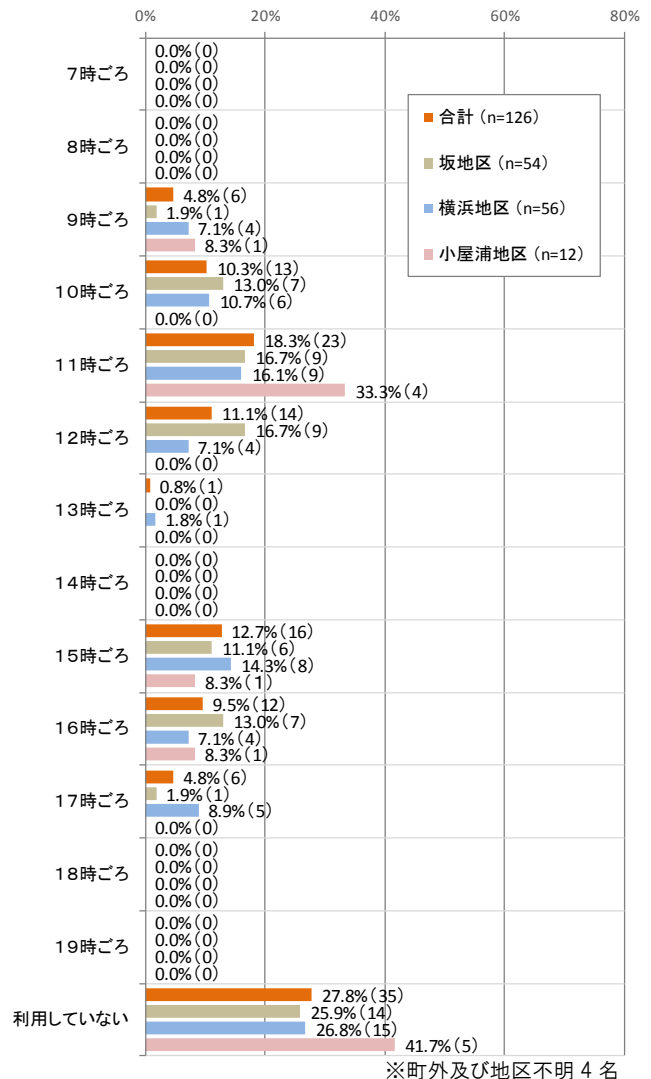
### ▲ 他の公共交通への乗り換え状況

#### ④ 利用時間帯

- ・ 行きの利用時間帯は 8～9 時台が 25%前後で最も多くなっている。
- ・ 帰りの利用時間帯は小屋浦地区を除き 11 時台が 17%前後となっており、午後の便より利用されていることが分かる。
- ・ 「利用していない」と回答した人の割合は、行きに比べ帰りの方が多くなっている。



▲ 行きのバス利用時間帯



▲ 帰りのバス利用時間帯

### ⑤ 利用バス停

乗降バス停の回答結果から、坂町循環バスの利用 OD 表を作成した。以下に、坂町内を複数のゾーンに分け、路線別にゾーン間の利用者数を整理した。巻末に OD 表を示す。

#### 【坂・北新地線】

- ・行きのみ利用した人の方が、帰りのみ利用した人より多い。
- ・北新地⇄坂地区間の利用が最も多い。

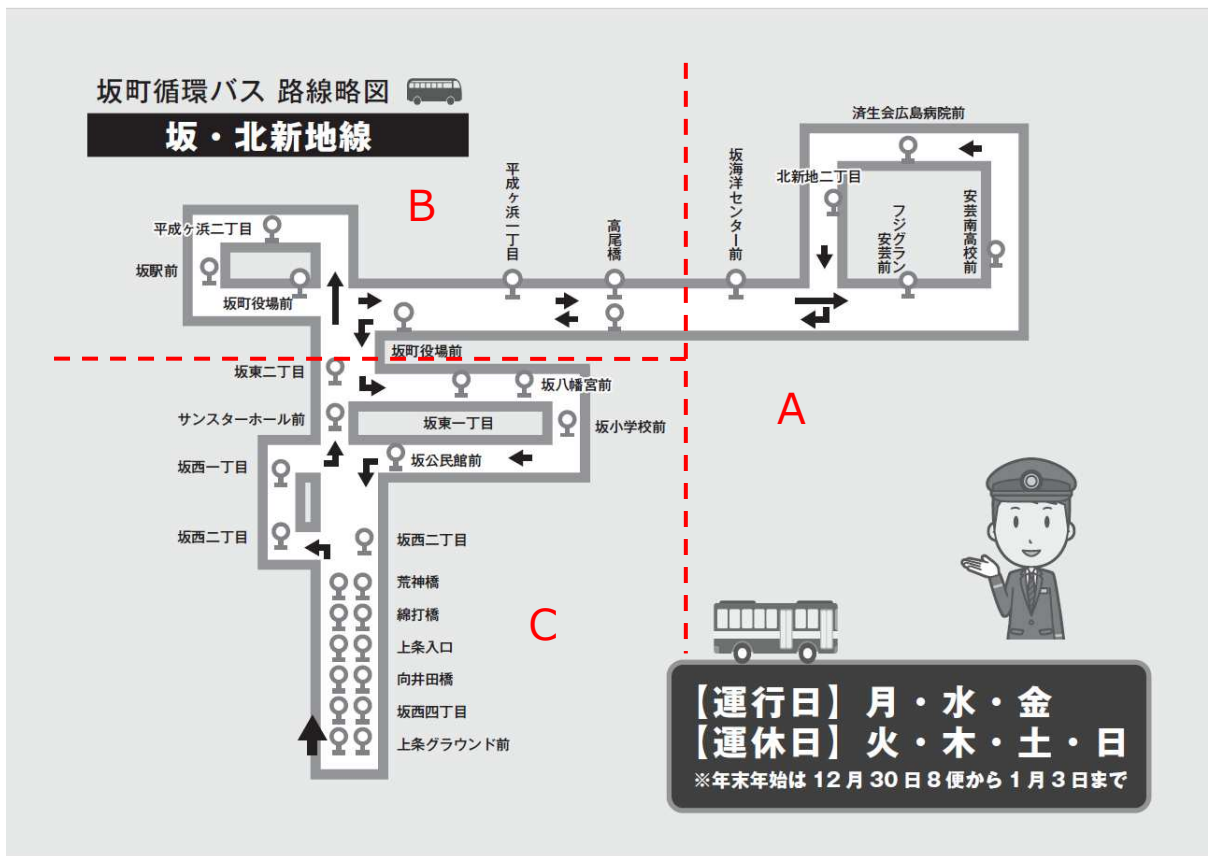
#### ▼ゾーン間別利用人数

区間	ゾーン名	行きのみ利用	帰りのみ利用	往復で利用		計
				行き	帰り	
A-B	北新地⇄坂駅・平成ヶ浜周辺	0	1	1	2	—
A-C	北新地⇄坂地区	7	3	14	14	—
B-C	坂駅・平成ヶ浜周辺⇄坂地区	5	1	3	2	—
A-A	北新地⇄北新地	0	0	0	0	—
B-B	坂駅・平成ヶ浜周辺⇄坂駅・平成ヶ浜周辺	0	0	0	0	—
C-C	坂地区⇄坂地区	1	3	3	3	—
合計		13	8	21		42

A: 北新地 1～4 丁目  
 B: 平成ヶ浜 1～5 丁目、横浜中央 1～2 丁目  
 C: 坂東 1～4 丁目、坂西 1～4 丁目

単位：人

(アンケート調査期間：H29. 8. 21～H29. 9. 16)



▲ 坂・北新地線路線図



## 【横浜・北新地線】

- ・ 行きのみ利用した人の方が、帰りのみ利用した人より多い。
- ・ 往復での利用では、北新地⇔坂地区間及び北新地⇔横浜地区間で多く利用されている。

### ▼ゾーン間別利用人数

区間	ゾーン名	行きのみ利用	帰りのみ利用	往復で利用		計
				行き	帰り	
A-B	北新地⇔坂駅・平成ヶ浜周辺	2	4	8	8	—
A-C	北新地⇔横浜地区	6	1	10	11	—
A-D	北新地⇔植田地区	0	2	3	2	—
B-C	坂駅・平成ヶ浜周辺⇔横浜地区	4	1	4	4	—
B-D	坂駅・平成ヶ浜周辺⇔植田地区	1	3	2	2	—
C-D	横浜地区⇔植田地区	0	0	0	0	—
A-A	北新地⇔北新地	0	0	0	0	—
B-B	坂駅・平成ヶ浜周辺⇔坂駅・平成ヶ浜周辺	0	0	1	1	—
C-C	横浜地区⇔横浜地区	1	0	0	0	—
D-D	植田地区⇔植田地区	0	0	0	0	—
合計		14	11	28		53

A: 北新地 1~4 丁目

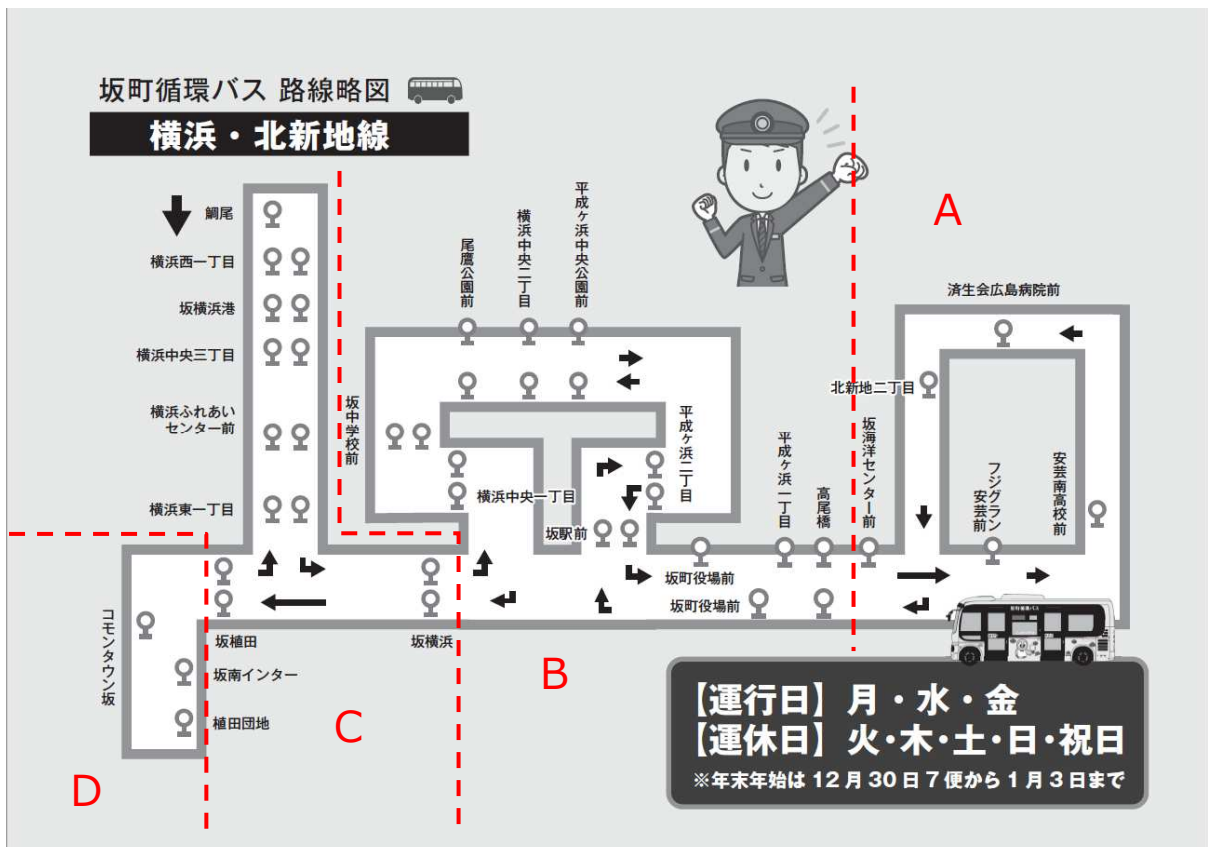
B: 平成ヶ浜 1~5 丁目、横浜中央 1~2 丁目

C: 横浜東 1~2 丁目、横浜中央 3 丁目、  
横浜西 1~2 丁目、鯛尾 1~2 丁目

D: 植田 1~4 丁目

単位：人

(アンケート調査期間：H29. 8. 21~H29. 9. 16)



▲ 横浜・北新地線路線図

## 【小屋浦・北新地線】

- ・行きのみ利用した人の方が、帰りのみ利用した人より多い。
- ・往復での利用では、北新地⇄坂駅・平成ヶ浜周辺地区間で多く利用されており、北新地⇄小屋浦地区間を往復利用する人数は非常に少なくなっている。（1名）

### ▼ゾーン間別利用人数

区間	ゾーン名	行きのみ利用	帰りのみ利用	往復で利用		計
				行き	帰り	
A-B	北新地⇄坂駅・平成ヶ浜周辺	0	1	8	8	—
A-C	北新地⇄横浜地区	1	0	1	1	—
A-D	北新地⇄小屋浦地区	3	3	1	1	—
B-C	坂駅・平成ヶ浜周辺⇄横浜地区	0	0	2	2	—
B-D	坂駅・平成ヶ浜周辺⇄小屋浦地区	2	0	1	1	—
C-D	横浜地区⇄小屋浦地区	1	0	0	0	—
A-A	北新地⇄北新地	0	0	0	0	—
B-B	坂駅・平成ヶ浜周辺⇄坂駅・平成ヶ浜周辺	0	0	0	0	—
C-C	横浜地区⇄横浜地区	0	0	0	0	—
D-D	小屋浦地区⇄小屋浦地区	0	0	0	0	—
合計		7	4	13		24

A: 北新地 1~4丁目

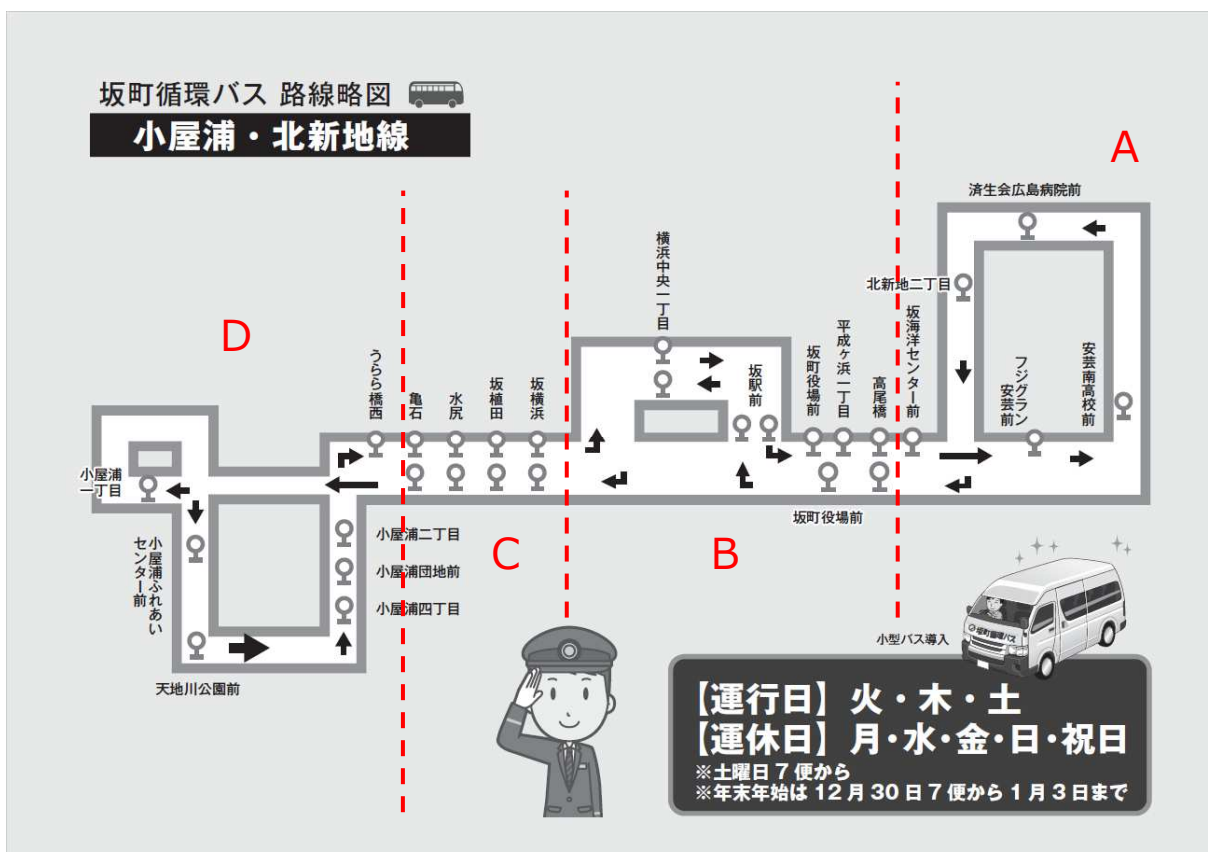
B: 平成ヶ浜 1~5丁目、横浜中央 1~2丁目

C: 横浜東 1~2丁目、水尻・亀石

D: 小屋浦 1~4丁目

単位：人

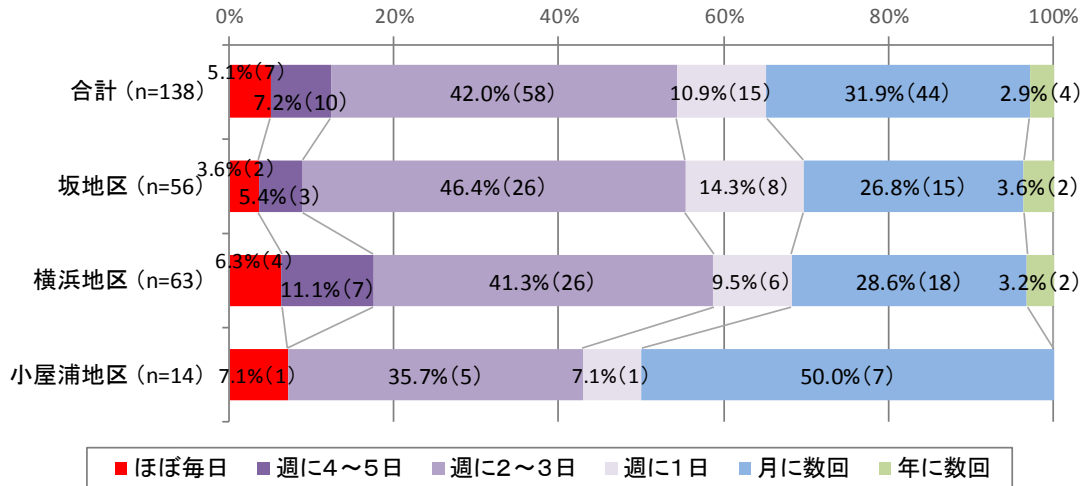
(アンケート調査期間：H29. 8. 21~H29. 9. 16)



▲ 小屋浦・北新地線路線図

## ⑥ 利用頻度

・月、水、金曜に運行する坂地区と横浜地区は「週に2～3日」が最も多く、火、水曜と土曜の午前中のみ運行する小屋浦地区は、「月に数回」が約半数を占め最も多くなっている。

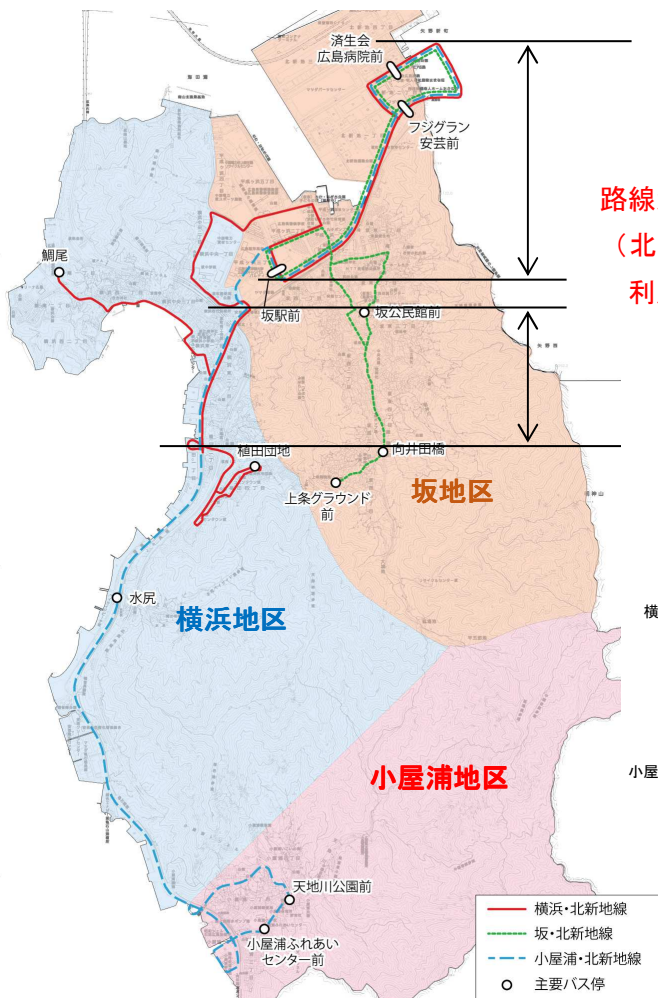


※町外及び地区不明 5 名

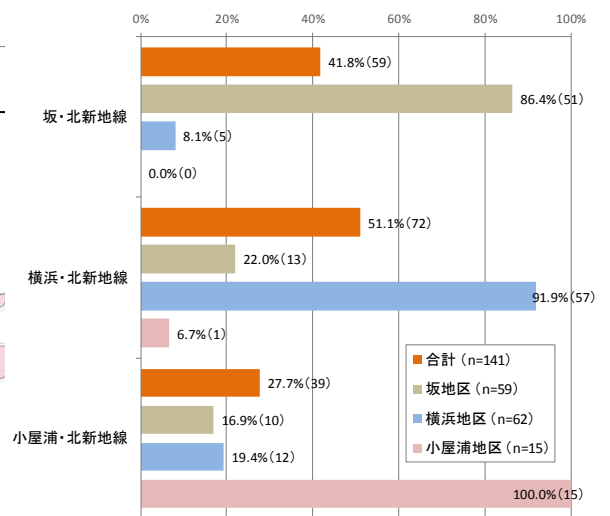
### ▲ 坂町循環バスの利用頻度

## ⑦ 普段利用する路線

・普段利用する路線を見ると、坂駅～北新地間はいずれの路線も経由するため、「横浜・北新地線」の坂地区住民の利用（22.0%）や、「小屋浦・北新地線」の坂地区住民（16.9%）、横浜地区住民（19.4%）の利用が見られる。



路線が重複する区間  
（北新地まで週6日バスを利用できる区間）



※町外及び地区不明 5 名

### ▲ 普段利用する路線

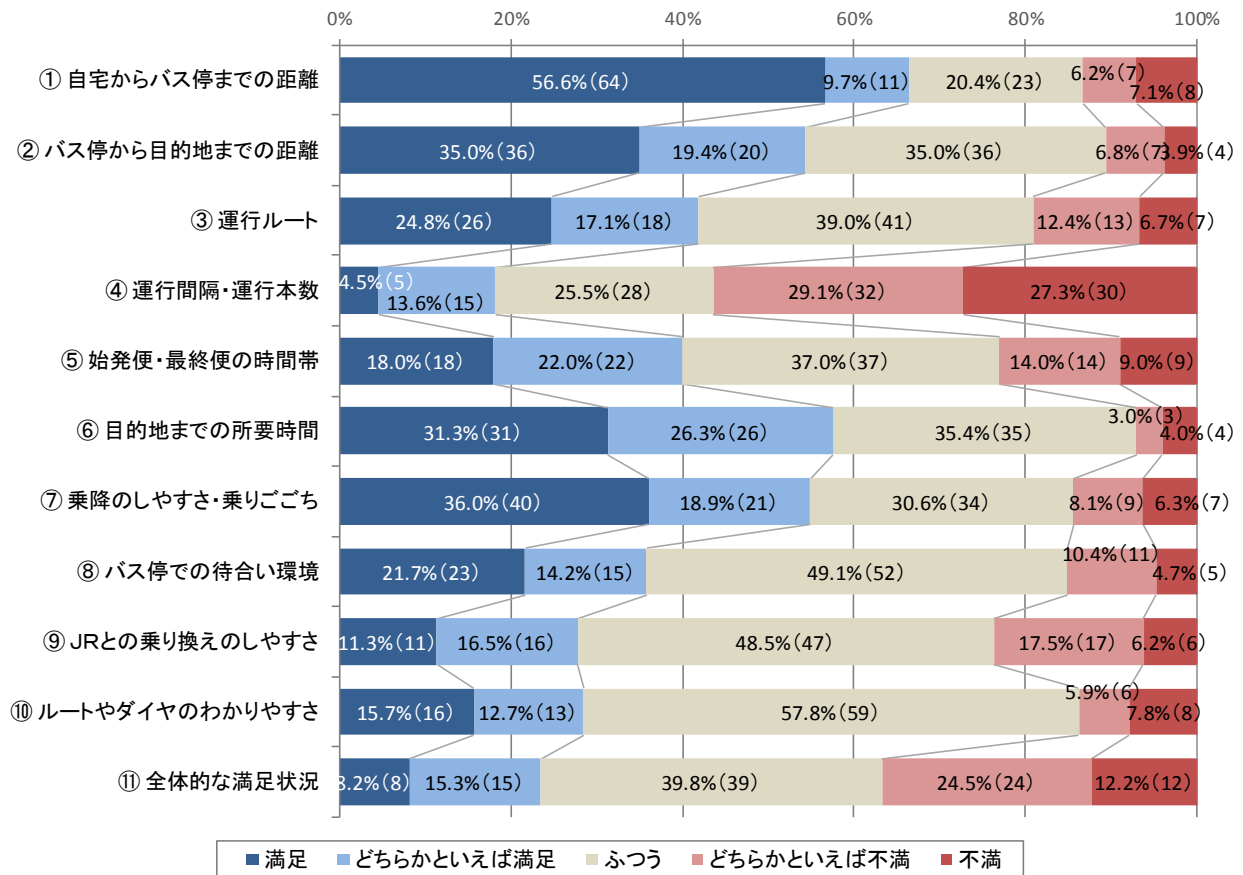
## (5) 坂町循環バスの利用満足度と改善希望

### ①-1 利用満足度（全地区）

・「①自宅からバス停までの距離」、「②バス停から目的地までの距離」、「③運行ルート」、「⑤始発便・最終便の時間帯」、「⑥目的地までの所要時間」は比較的満足度が高い傾向にあるが、一方で「④運行間隔・運行本数」は満足度が低い傾向にある。

※満足度が高い：「満足」「どちらかといえば満足」を集計

満足度が低い：「不満」「どちらかといえば不満」を集計



▲ 坂町循環バスの利用満足度

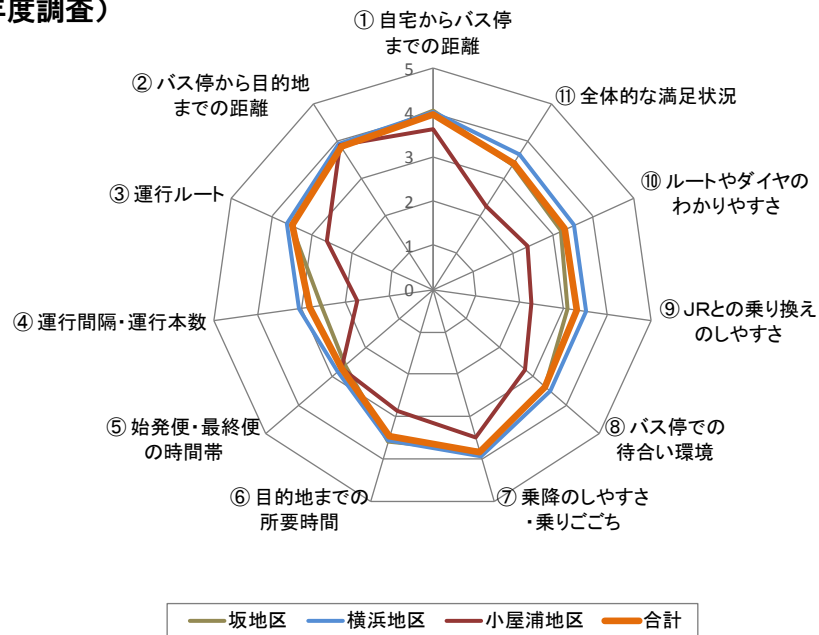
## ①-2 利用満足度（地区別）

- ・平成 27 年度と比較した地区別の満足度は、小屋浦地区で「①自宅からバス停までの距離」、「③運行ルート」、「④運行間隔・運行本数」、「⑤始発便・最終便の時間帯」、「⑥目的地までの所要時間」といった多くの項目で満足度が向上している。
- ・「⑤始発便・最終便の時間帯」、「⑥目的地までの所要時間」はすべての地区で満足度が向上している。
- ・坂地区、横浜地区では、「②バス停から目的地までの距離」、「④運行間隔・運行本数」、「⑨JRとの乗り換えのしやすさ」で満足度が低下している。
- ・「⑪全体的な満足状況」は、坂地区及び横浜地区で低下し、小屋浦地区で向上した。

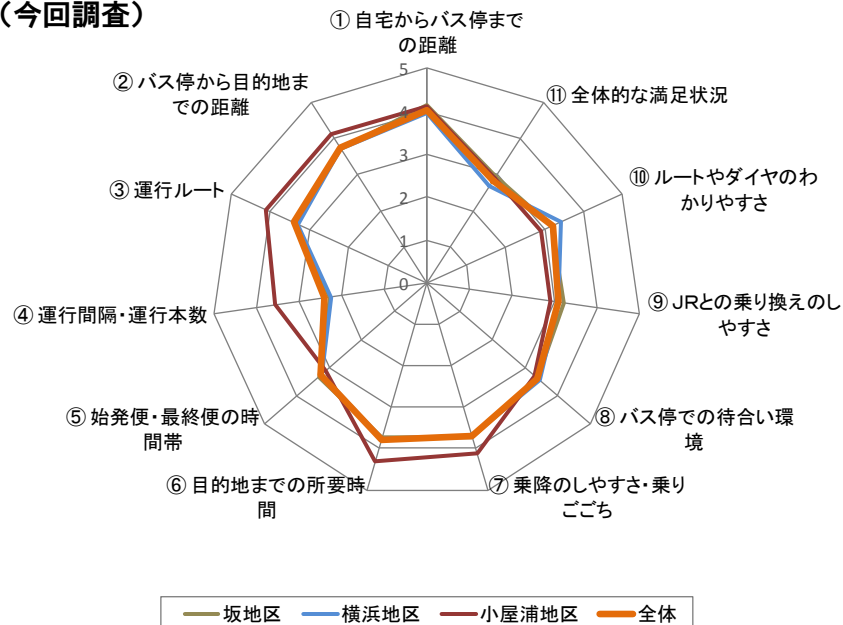
※「満足」5点、「やや満足」4点、「ふつう」3点、

「どちらかといえば不満」2点、「不満」1点と設定して加重平均した値

### 【H27】（過年度調査）



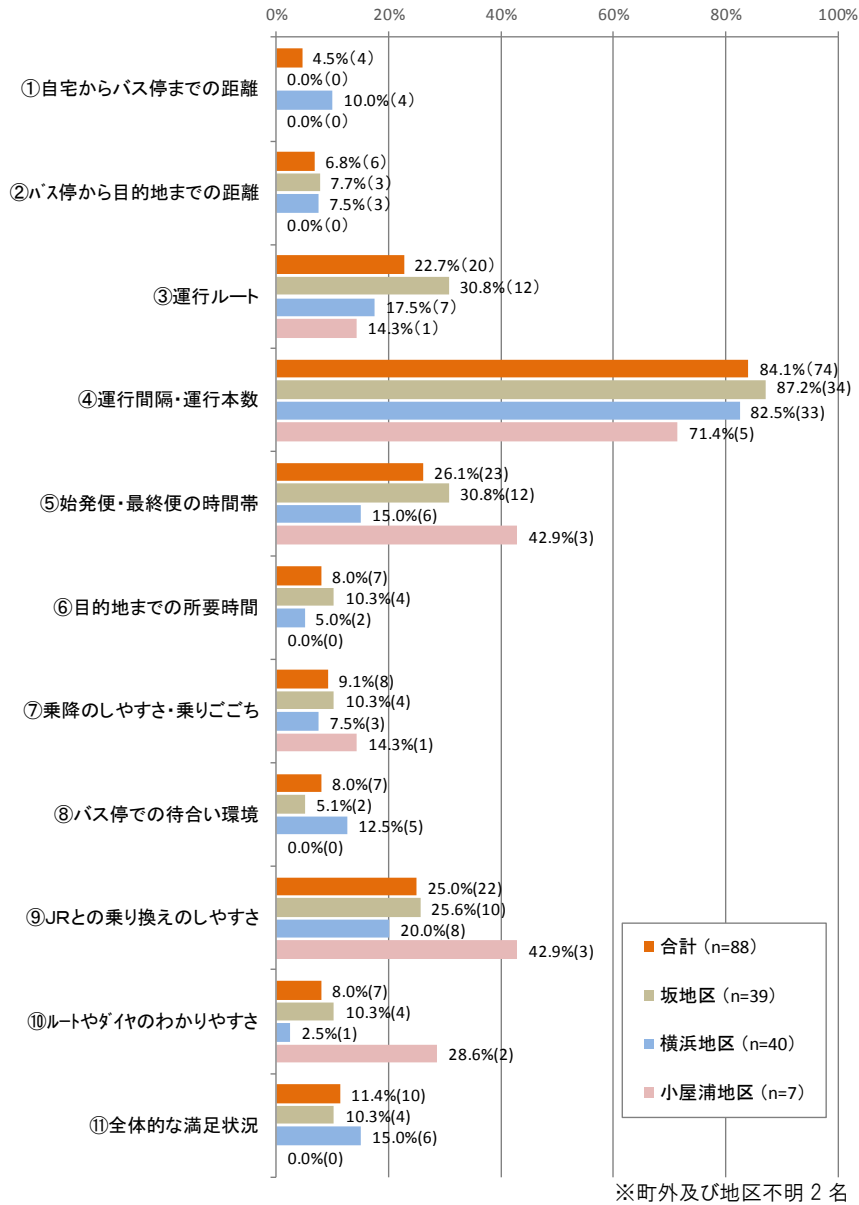
### 【H29】（今回調査）



### ▲ 坂町循環バスの利用満足度(地区別比較)

## ② 改善希望

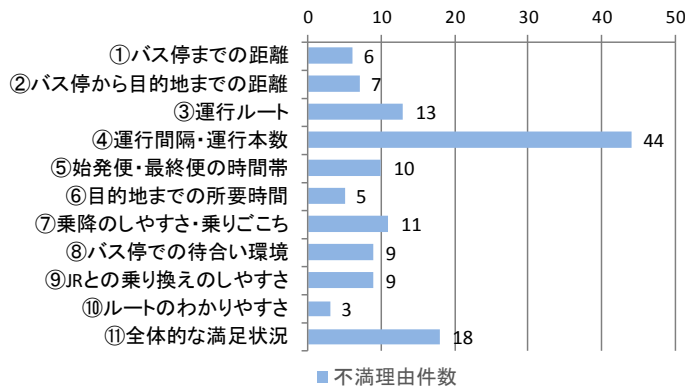
- ・「④運行間隔・運行本数」（84.1%）を指摘する人が、いずれの地区でも極めて多い。
- ・小屋浦地区では、他地区に比べて「⑤始発便・最終便の時間帯」（42.9%）、「⑨JRとの乗り換えのしやすさ」（42.9%）、「⑩ルートやダイヤのわかりやすさ」（28.6%）を指摘する人が多くなっている。



### ▲ 坂町循環バスに対する改善要望(3つまで選択)

### ③ 不満理由

- ・改善要望項目と同様に「運行間隔・運行本数」に関する理由が多い。
- ・病院の治療時間や買い物時間が限られるため、運行していない13～14時台を含め、1時間に1本運行してほしいという意見が多くなっている。
- ・始発便についての不満は無いが、最終便の時刻が早いため引き伸ばしてほしいという意見が複数あった。
- ・バスがない日は外出できないため、毎日運行してほしいという意見も多い。
- ・小型車両は車内が狭いため、乗降しづらく押し車も積めないという意見も見られた。



#### ▲ 不満理由の件数

#### ▼ 主な不満な理由

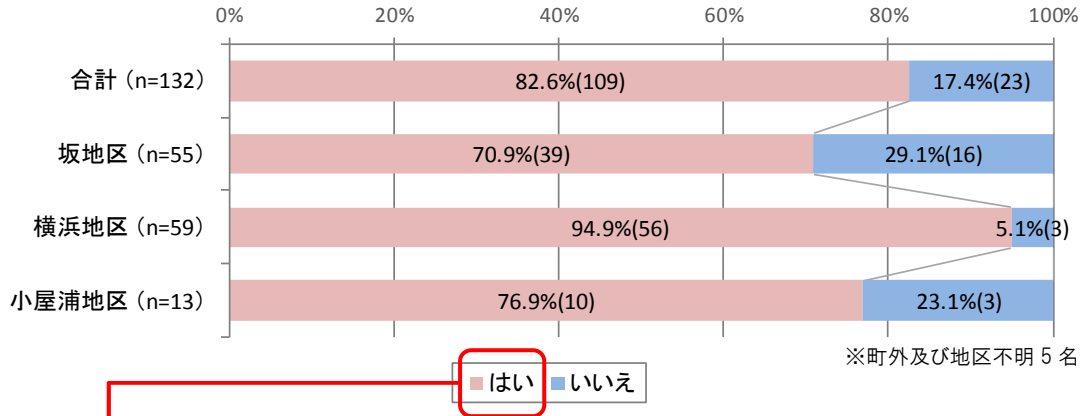
①バス停までの距離	・バス停まで10分以上歩かなくてはならず、遠い。 ・普段はやむをえないが足が痛いときはつらい
②バス停から目的地までの距離	・荷物がある時は遠い
③運行ルート	・わかりにくい ・遠回りをしているため時間がかかる ・植田地区等を周るため、始発地、終着地まで時間がかかり不便 ・郵便局を経由しないので不便
④運行間隔・運行本数	・13時～14時台の便が無く不便 ・8:58～10:00の間に1便作ってほしい ・13時～14時の間に1便作ってほしい ・1時間に1本運行してほしい ・午前中の病院での治療時間が長引けば、15時のバスまで待たなければならない ・料金が上がってもよいので本数を増やしてほしい ・毎日運行してほしい ・一日の運行本数を減らしてもいいので毎日運行してほしい ・土日も運行してほしい
⑤始発便・最終便の時間帯	・始発便はいいが、最終便が早い ・最終便を1本か2本増やしてほしい ・19時台まで運行してほしい
⑥目的地までの所要時間	・一方方向の運行のため、行きか帰りのどちらかが時間がかかる
⑦乗降のしやすさ・乗りごち	・押し車での乗降が難しくなった。できなくなった。 ・小型車の通路が狭くスムーズに乗降できない ・買い物袋があると乗降しづらい ・乗り心地が悪い
⑧バス停での待合い環境	・座る場所がほしい ・椅子と屋根が離れすぎている ・夏場や雨天の時に困るので屋根がほしい
⑨JRとの乗り換えのしやすさ	・JRの時間に合わせてほしい ・JRが到着した後に乗れるようなダイヤを組んでほしい ・坂駅の南口に発着したほうが便利 ・歩行困難のためバス停から駅までが遠い
⑩ルートのわかりやすさ	・行きと帰りの停留所が違うことをアナウンスしてほしい ・曜日により変わるのが分かりづらい
⑪全体的な満足状況	・以前に比べてとても不便になった ・バスがない日は外出できない ・運行曜日を増やしてほしい ・時間帯によって積み残しがある。毎日運行になれば改善されるのでは。 ・病院の予約とバスの運行日が合わない。押し車も積めない ・福祉目的なのに採算のために隔日としてはかえって利用の減少に繋がる ・毎日利用したいのに便がない

※ 同様の意見は集約している

## (6) 循環バスの運行内容の変更について

### ① 運行内容変更前からの利用

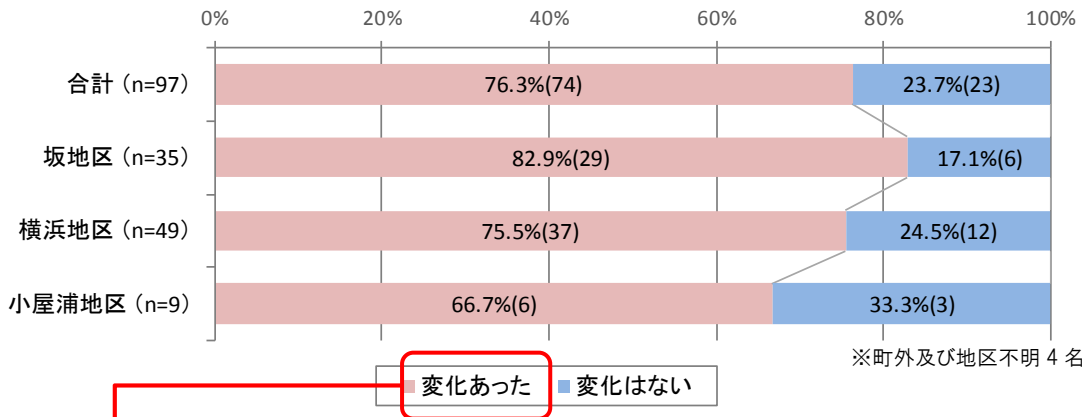
- ・約 8 割 (82.6%) の人が運行内容変更前から坂町循環バスを利用している。
- ・新たに坂町循環バスを利用するようになった人の割合は、坂地区が約 3 割 (29.1%) と最も多くなっており、次いで小屋浦地区が約 2 割 (23.1%) となっている。



#### ▲ 運行内容変更前からの利用の有無

### ② 運行内容変更前後での利用方法の変化

- ・運行内容変更後の循環バス利用方法について、約 8 割 (76.3%) が「変化があった」と回答している。
- ・地区別では、小屋浦地区が他地区に比べ「変化はない」と回答する人が多くなっている。(33.3%)



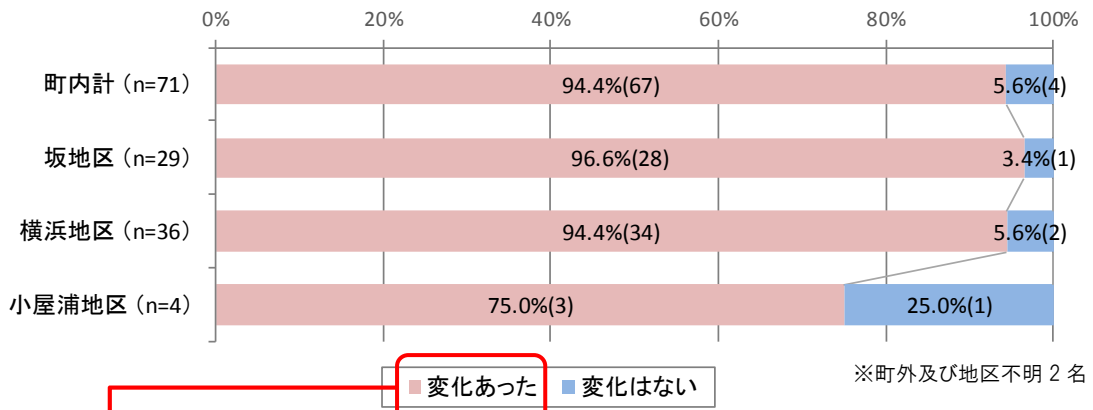
#### ▲ 運行内容変更前からの利用の変化

具体的な変化(利用回数、利用する曜日、利用する時間帯、利用する目的)について、次ページで示す。



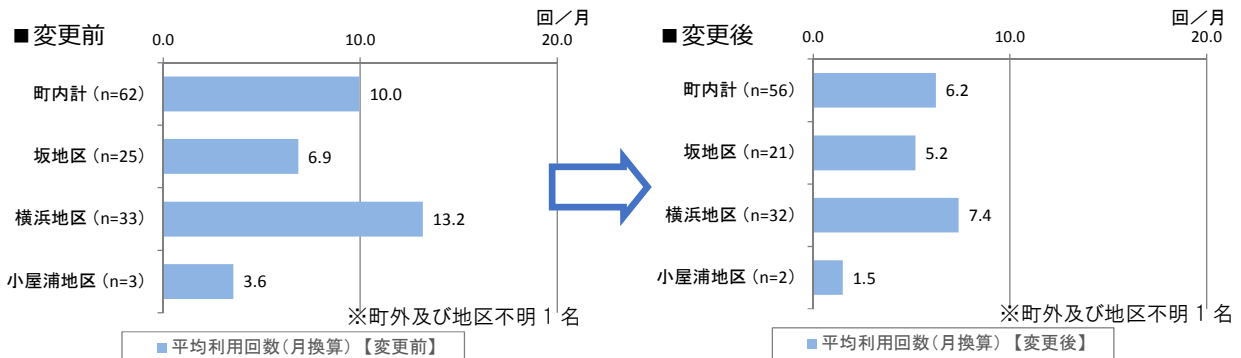
## ②-1 利用回数の変化

- ・運行内容変更後の循環バスの利用回数について、9割以上（94.4%）「変化があった」と回答している。
- ・地区別では、小屋浦地区が他地区に比べ「変化はない」と回答する人が多くなっている。（25.0%）
- ・1ヶ月に換算した利用回数は運行内容変更前から減少しているが、変更後の循環バスは隔日運行となっており運行日数が異なるため、運行日あたりに換算した利用回数に着目すると、変更前より増加している結果となった。



### ▲ 運行内容変更前からの利用回数の変化

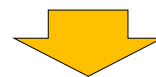
#### 【1ヶ月間に換算した利用回数】



### ▲ 1ヶ月間に換算した利用回数の変化

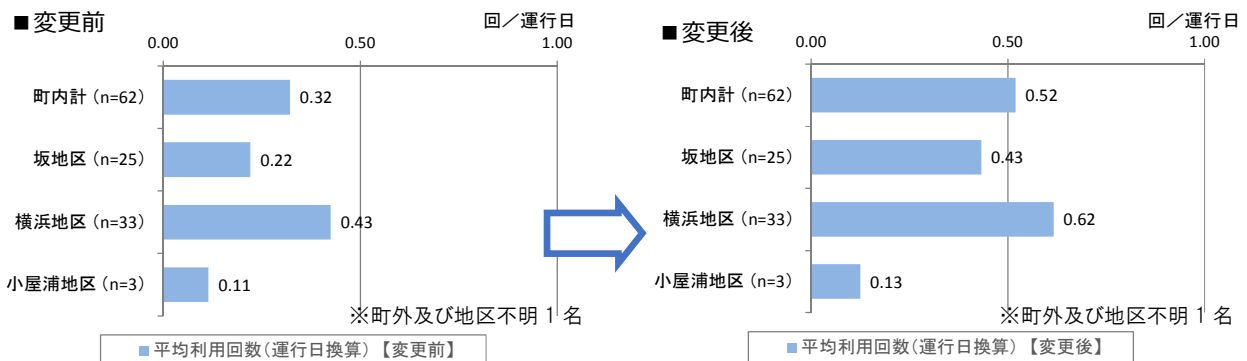


ひと月あたり **30日**運行



ひと月あたり **12日**運行

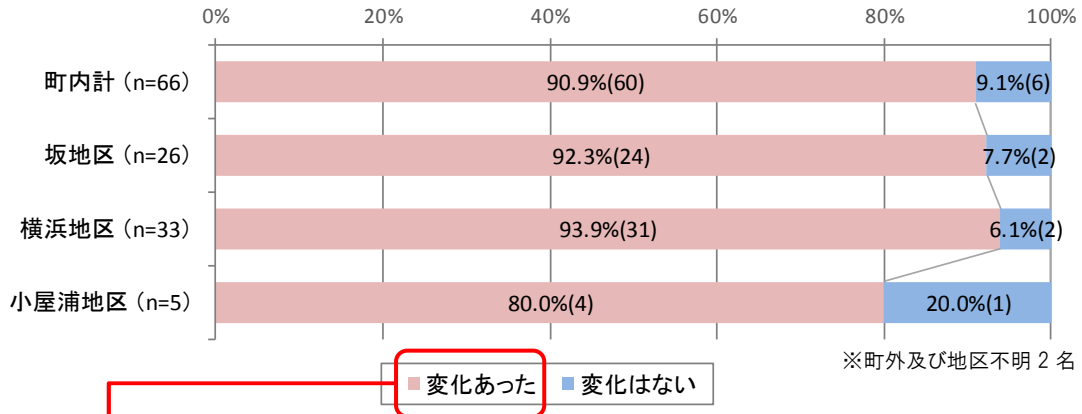
#### 【坂町循環バスの運行日に換算した利用回数】



### ▲ バス運行日に換算した利用回数の変化

## ②-2 利用曜日の変化

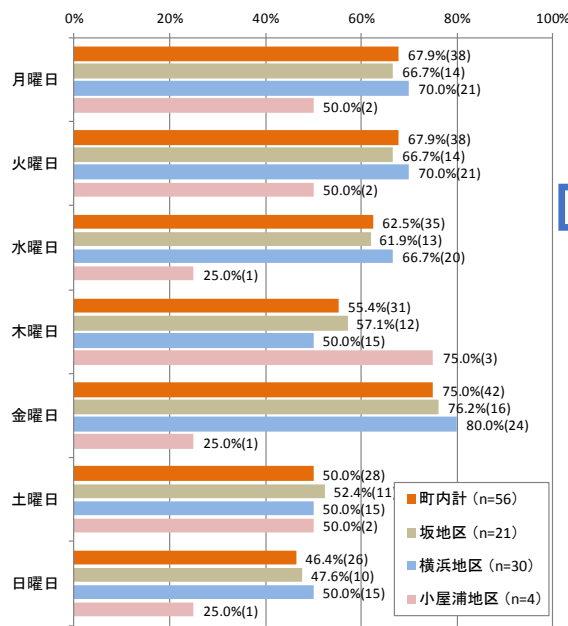
- ・運行内容変更後の循環バスを利用する曜日について、約 9 割（90.9%）「変化があった」と回答している。
- ・利用曜日に変化があった回答者は、隔日運行となったことで、坂地区と横浜地区では月曜日と水曜日の利用割合が増加し、小屋浦地区ではサンプル数が少ないが、火曜日の利用割合が増加した。



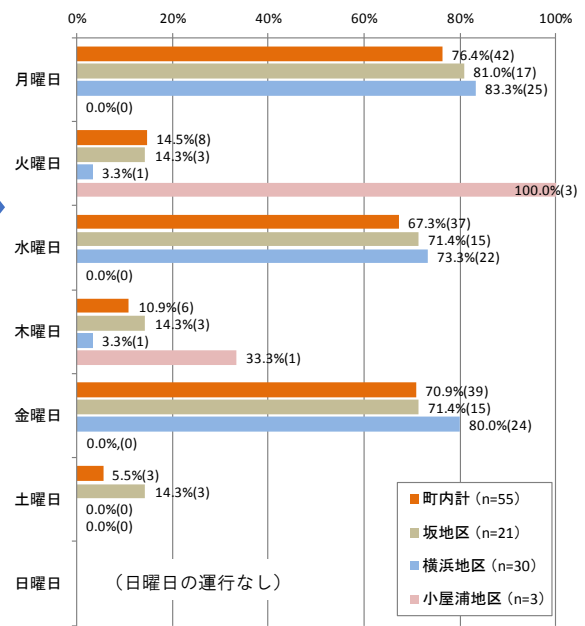
### ▲ 運行内容変更前からの利用曜日の変化の有無

#### 【利用曜日の変化】

##### ■ 変更前



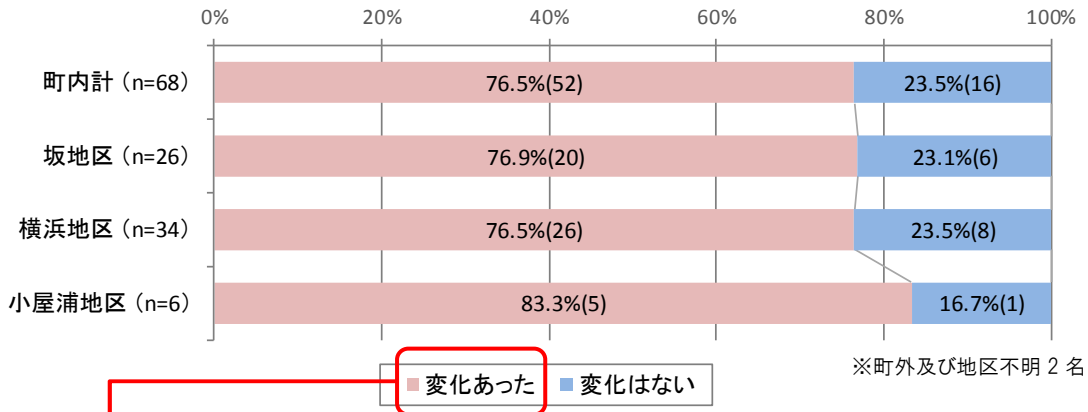
##### ■ 変更後



### ▲ 運行内容変更前からの利用曜日の変化

## ②-3 利用時間帯の変化

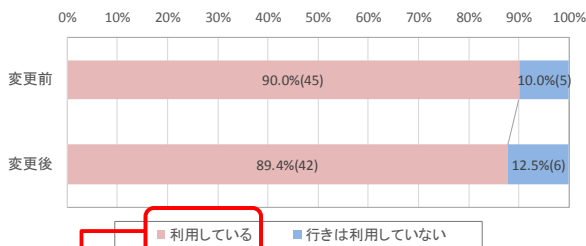
- ・運行内容変更後の循環バスを利用する時間帯について、約8割（76.5%）が「変化があった」と回答している。
- ・運行内容の変更前に比べ、「行きは利用していない」と回答した人が2.5%、「帰りは利用していない」と回答した人が2.6%増加した。
- ・行きでは「7時頃利用した」、帰りでは「15時頃利用した」と回答した人が増加した。



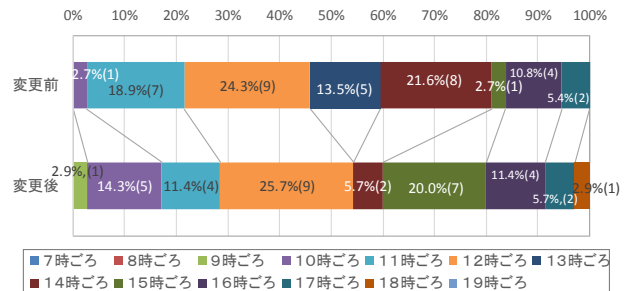
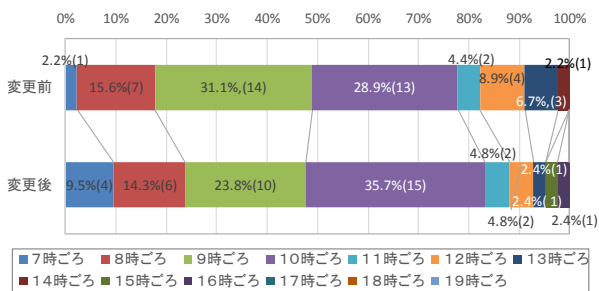
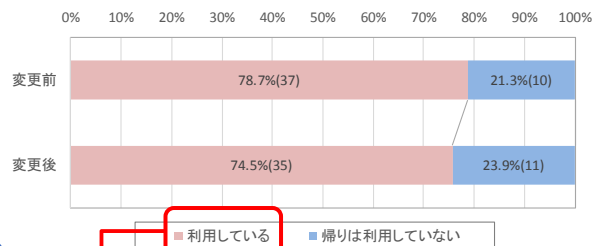
### ▲ 運行内容変更前からの利用曜日の変化の有無

#### 【利用時間帯の変化】

##### ■ 行き



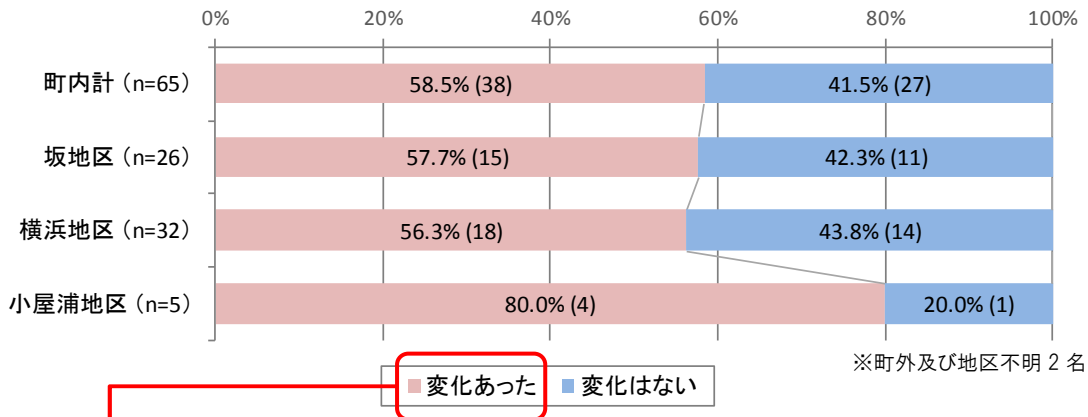
##### ■ 帰り



### ▲ 運行内容変更前からの利用時間帯の変化

## ②-4 利用目的の変化

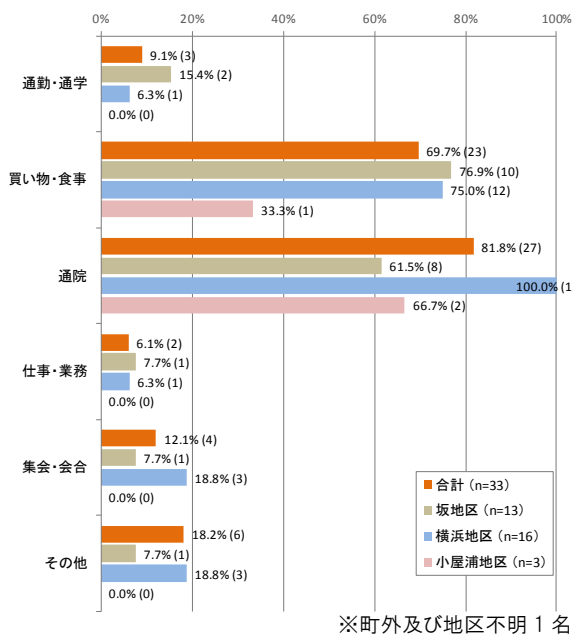
- ・運行内容変更後の循環バスを利用目的について、約 6 割（58.5%）「変化があった」と回答している。
- ・「買い物・食事」と回答した人はいずれの地区でも減少し、「通院」と回答した人は、坂地区を除き減少している。



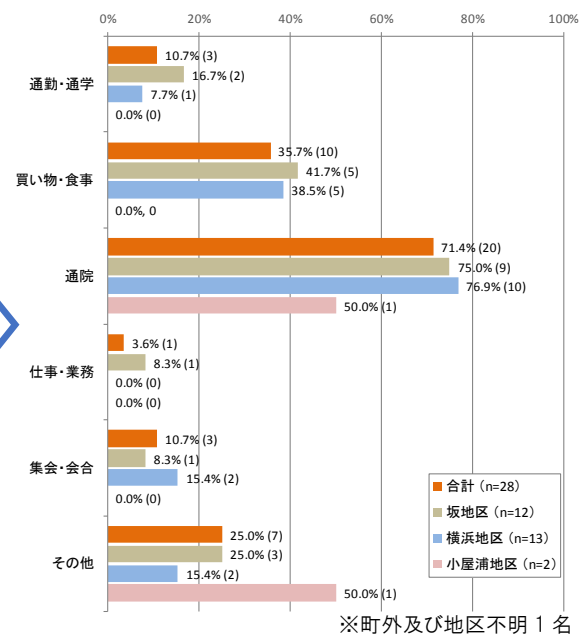
### ▲ 運行内容変更前からの利用目的の変化の有無

#### 【利用目的の変化】

##### ■ 変更前



##### ■ 変更後

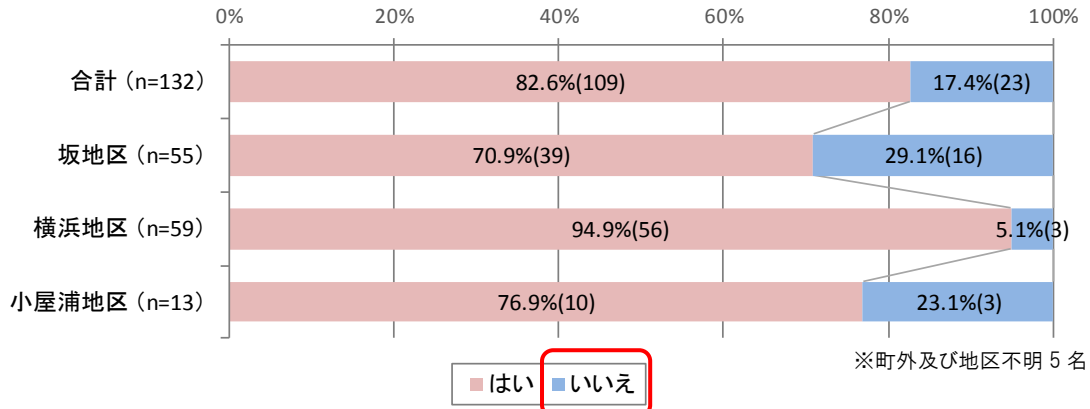


### ▲ 運行内容変更前からの利用目的の変化

### ③-1 坂町循環バスを利用するようになった理由

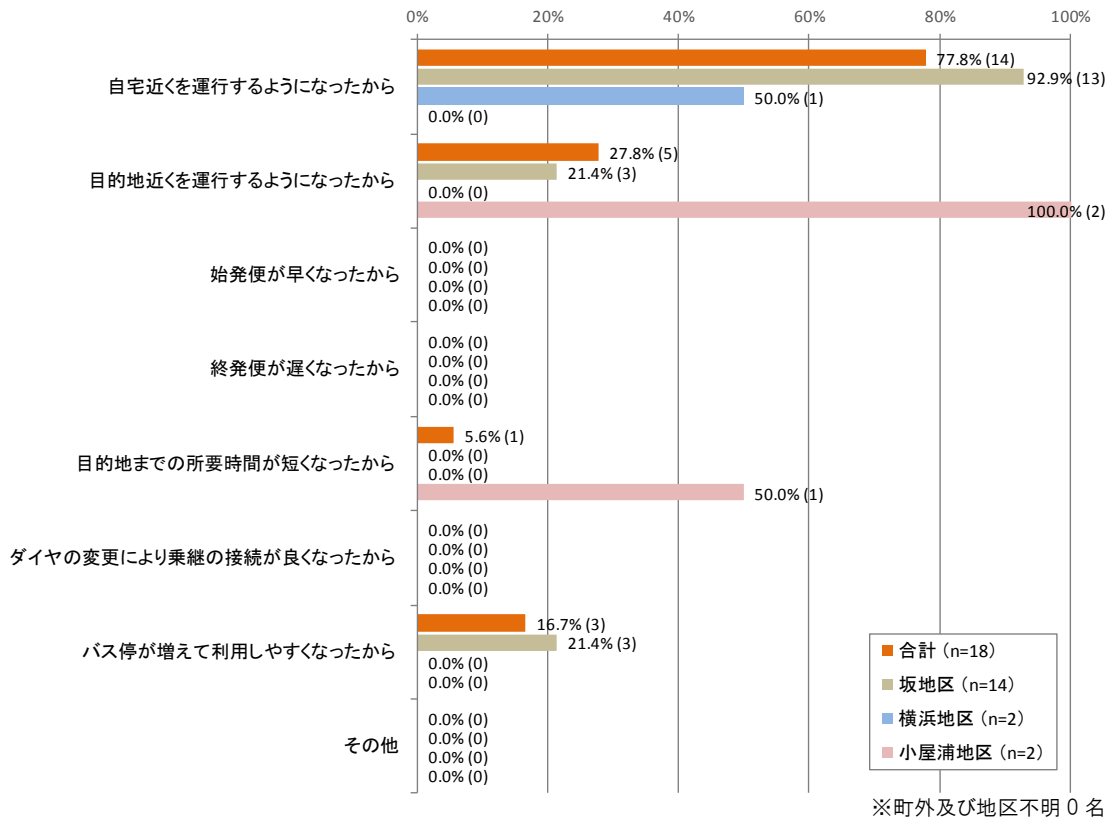
#### 運行内容変更前からの利用【再掲】

- ・約 2 割（17.4%）の人が運行内容変更後から坂町循環バスを利用している。
- ・新たに坂町循環バスを利用するようになった人の割合は、坂地区が約 3 割（29.1%）と最も多くなっており、次いで小屋浦地区が約 2 割（23.1%）となっている。



#### ▲ 運行内容変更前からの利用の有無

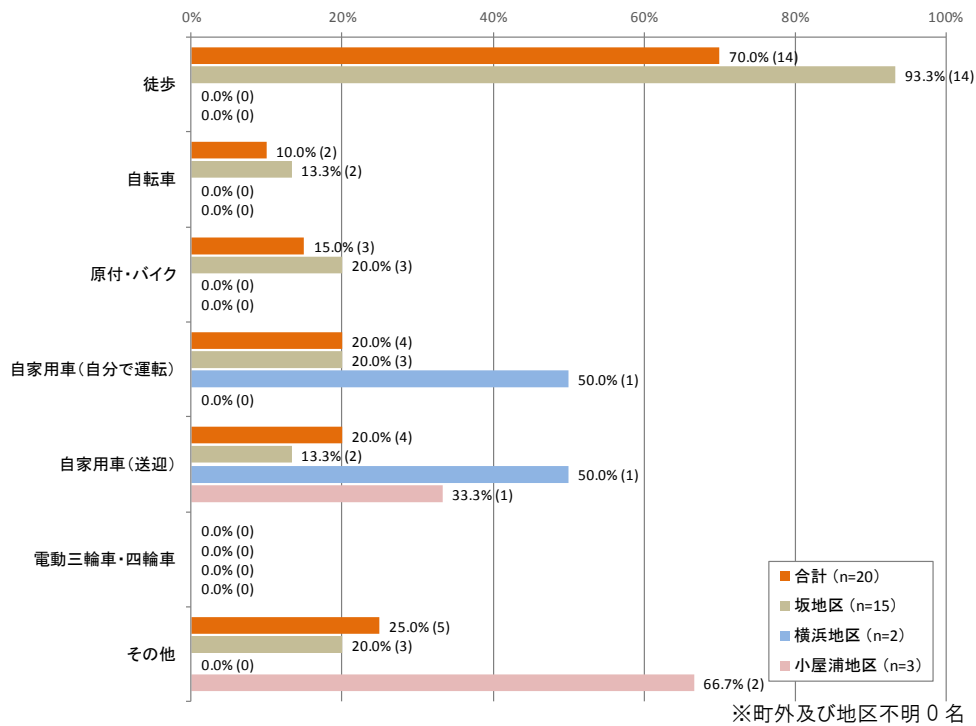
- ・利用するようになった理由は、「自宅近くを運行するようになった」と回答した人が約 8 割（77.8%）と最も多い



#### ▲ 坂町循環バスを利用するようになった理由

### ③-2 以前の利用交通手段

・坂町循環バスを利用する以前の交通手段は「徒歩」との回答が7割（70.0%）と最も多い



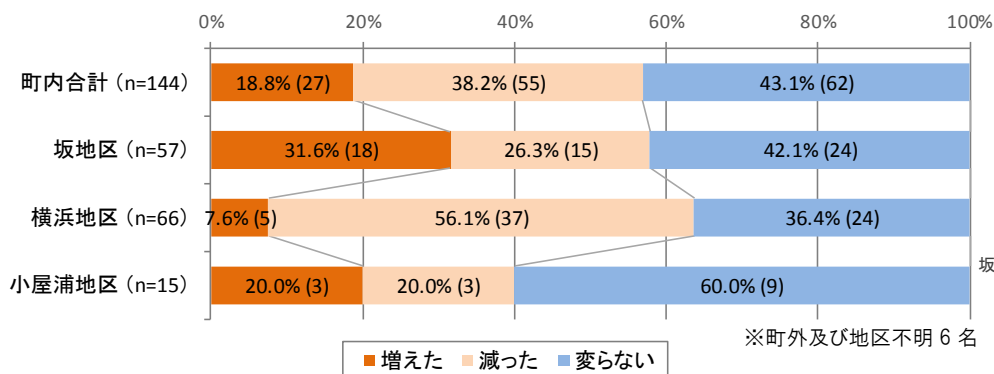
▲ 以前の利用交通手段

### ④ 外出回数の変化（全員）

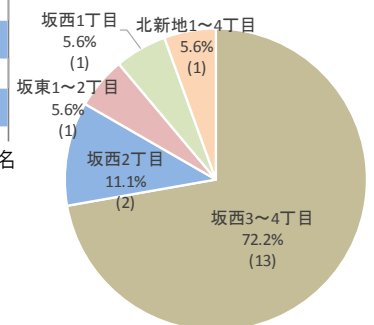
・運行内容変更後の外出回数は、「変わらない」が約4割（43.1%）と最も多く、次いで「減った」が約4割（38.2%）となっている。

・坂地区で「増えた」と回答した人の内訳は、新たにバスが運行を始めた坂西3～4丁目といった地区が多くなっている。

・横浜地区で「増えた」と回答した人は、植田地区で2名、水尻・亀石で2名、横浜西で1名となっている。



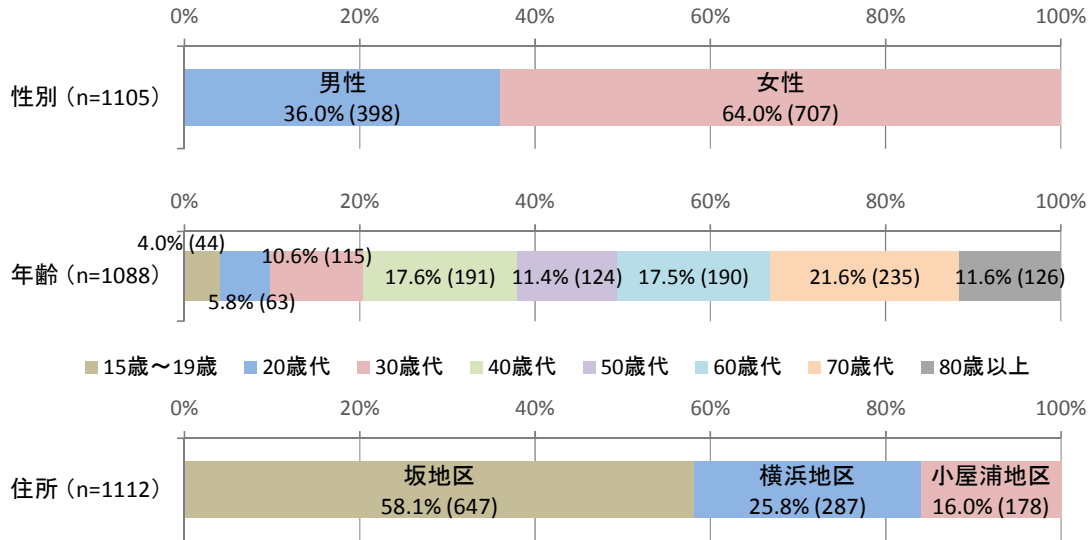
▲ 運行内容変更後の外出回数の変化



▲ 外出回数が増えた坂地区の内訳

### 3) 住民アンケート調査の結果

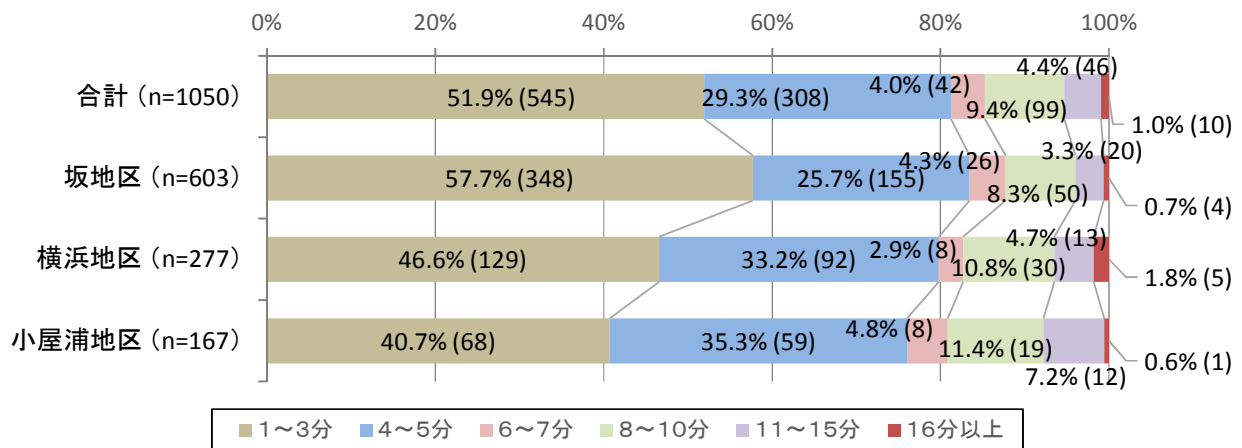
#### (1) 回答者の属性



▲ 回答者の属性

#### (2) 自宅からバス停までの徒歩時間

- ・坂町循環バス利用者の自宅からバス停までの徒歩時間は、約8割（81.2%）が5分以下、約9割以上（94.6%）が10分以下となっている。
  - ・地区別では、小屋浦地区が他地区に比べて徒歩時間がやや長い傾向にあるが、9割以上（92.2%）が10分以内となっている。
  - ・高齢者の徒歩時間10分は概ね400mと想定され、坂町循環バスの利用者のほとんどは、自宅からバス停までの距離が400m以内であることが伺える。
- （※ 高齢者の徒歩速度：40m/分：「よくわかる都市の交通/建設省監修（1988）」より）



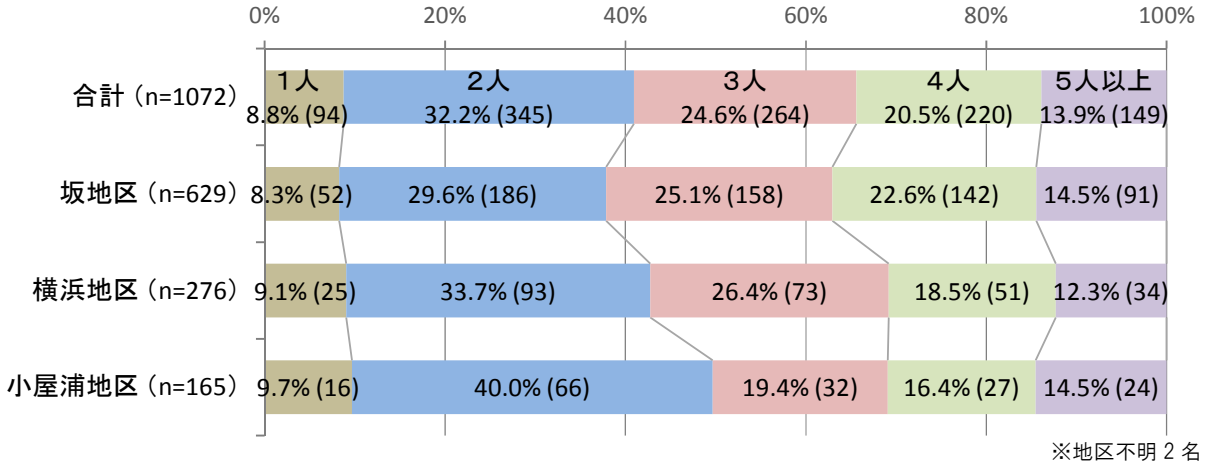
※地区不明3名

▲ 自宅からバス停までの徒歩時間

### (3) 世帯構成

#### ① 同居人数

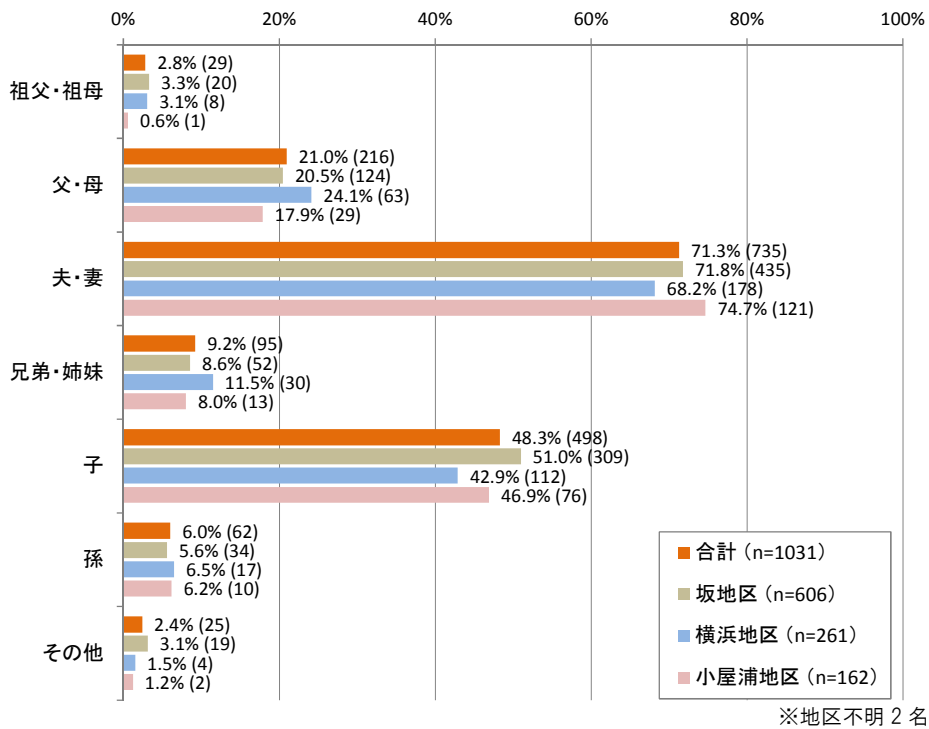
・同居人数は、自分も含めて 2 人以下が町内全体で約 4 割（41.0%）程度を占めており、地区別では、小屋浦地区で約 5 割（49.7%）となっている。



▲同居人数

#### ② 同居者

・同居者は、「夫・妻」が最も多く約 7 割（71.3%）となっており、次いで「子」が約 5 割（48.3%）となっている。

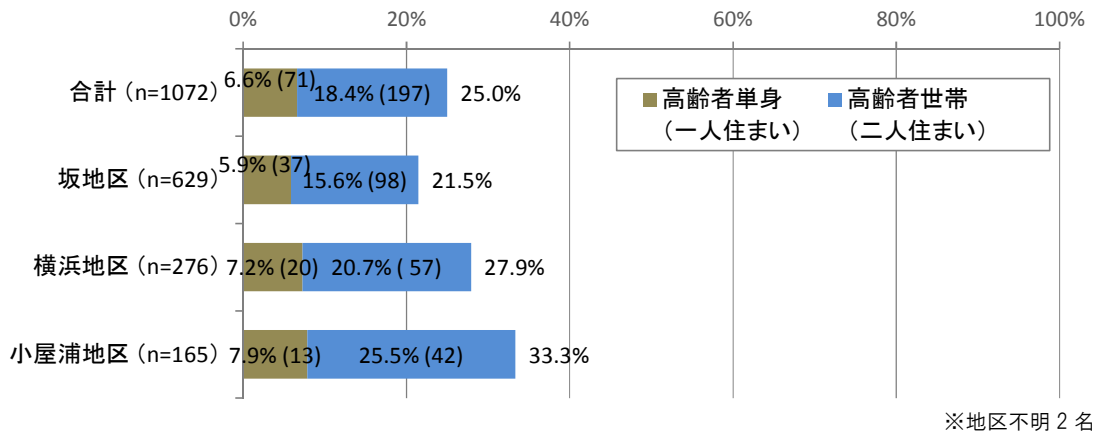


▲同居者



### ③ 高齢者の単身・二人住まい世帯の状況

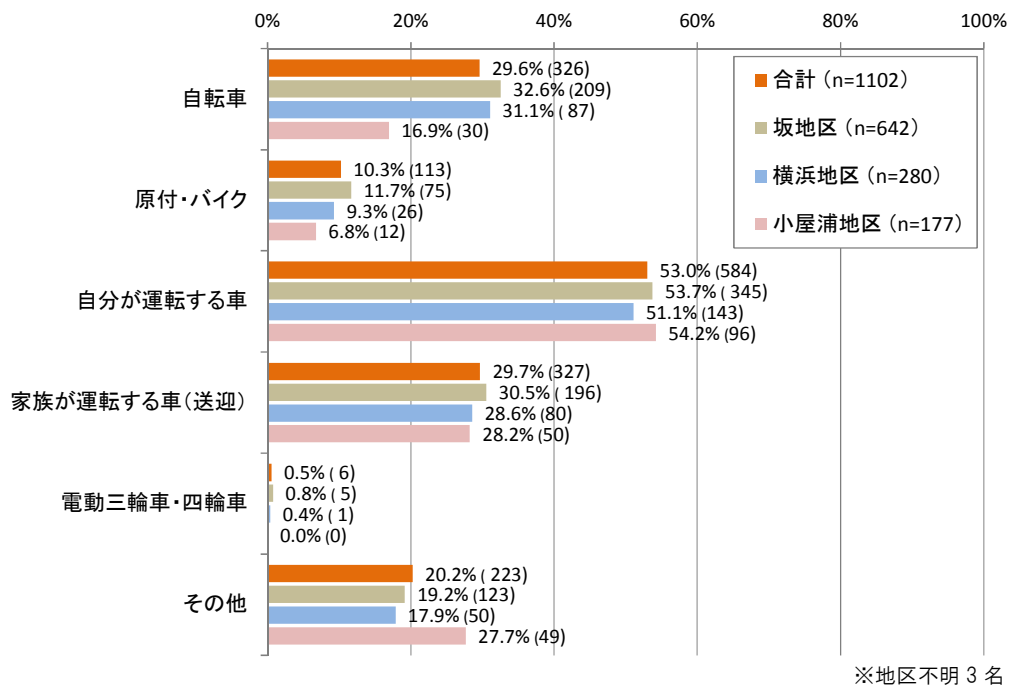
・高齢者の単身・二人住まいの状況をみると、地区合計で 25.0%を占めており、特に小屋浦地区で 33.3%と多くなっている。



### ▲ 高齢者の単身・二人住まい世帯の状況

### (4) 利用可能な交通手段

・利用可能な交通手段をみると、「自分が運転する車」が 5 割以上と最も多く、「自転車」、「家族が運転する車」を挙げる人が 30%前後で続いている。

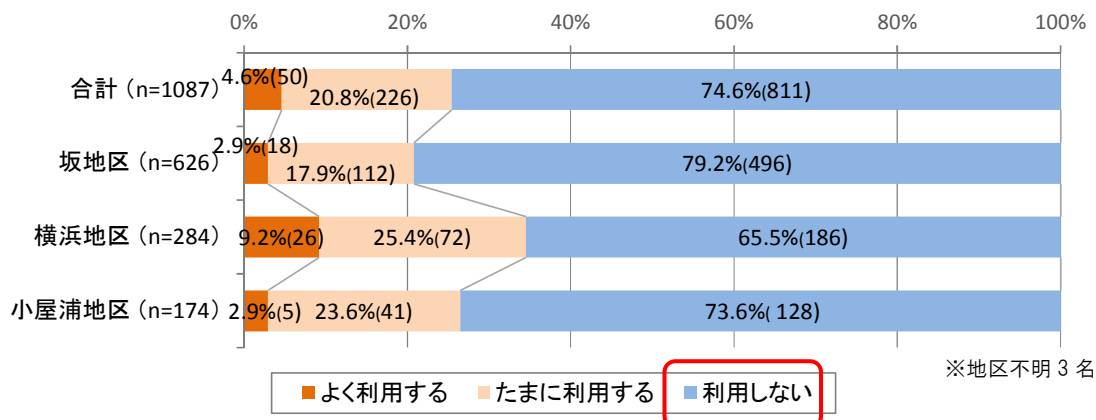


### ▲ 利用可能な交通手段

## (5) 坂町循環バスの利用状況

### ① 利用状況

- ・ 地区合計で 4.6%の回答者が「よく利用する」、20.8%の人が「たまに利用する」と回答しており、合わせて 25.4%の人が坂町循環バスを利用していると想定される。
- ・ 一方で、約 7 割（74.6%）は坂町循環バスを利用していない状況となっている。



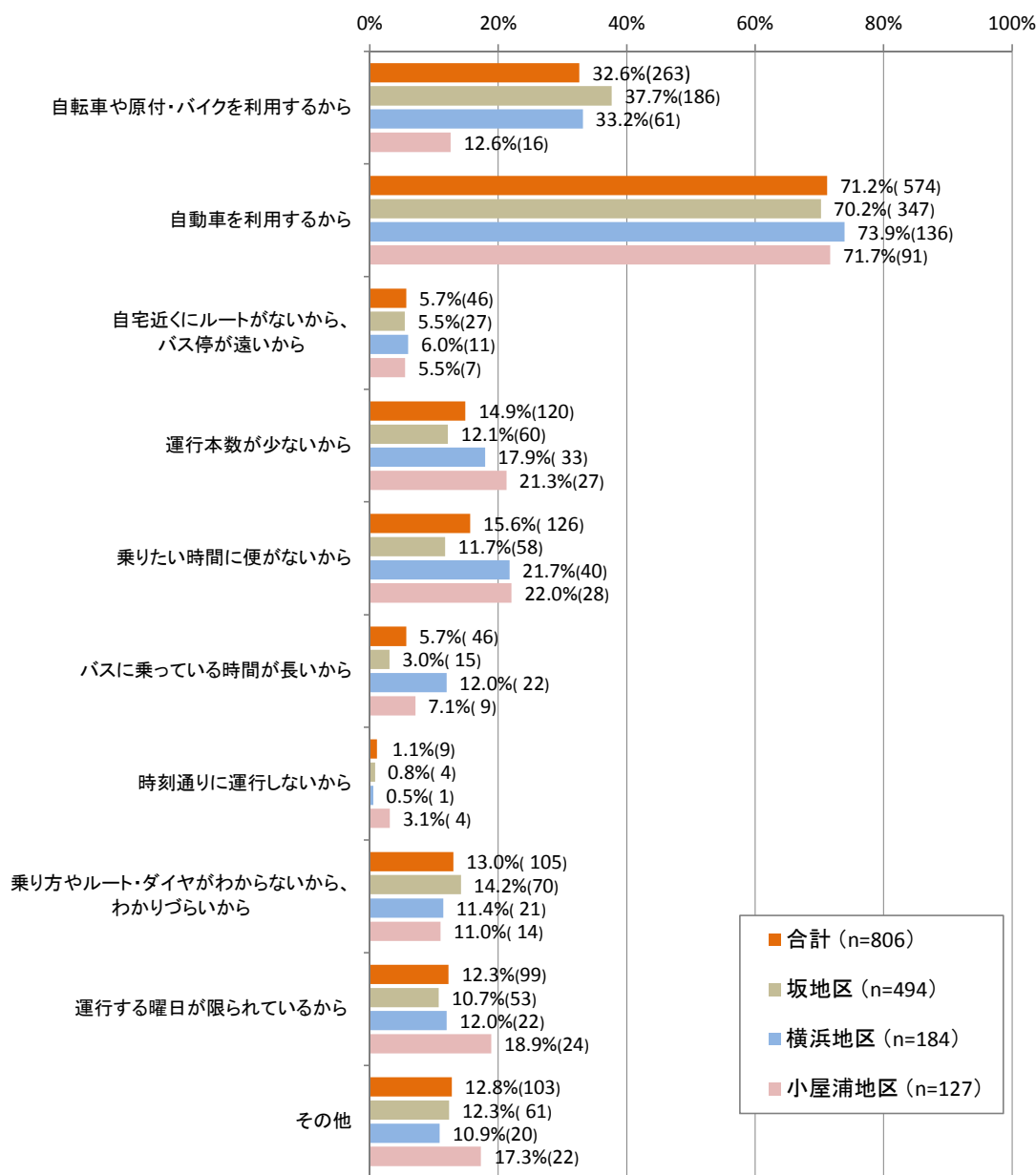
#### ▲ 坂町循環バスの利用状況

循環バスを利用しない理由について、次ページで示す。

## (6) 坂町循環バスを利用しない理由

### ① 利用しない理由

- ・坂町循環バスを「利用しない」と回答した人を対象として、その理由を質問したところ、約7割(71.2%)が「自動車を利用するから」と回答しており、次いで「自転車や原付・バイクを利用するから」と回答した人が約3割(32.6%)となっている。
- ・バスの運行に関わる理由としては、「自宅近くにルートがないから」、「運行本数が少ないから」、「乗りたい時間に便がないから」、「乗り方やルート・ダイヤがわからないから」、「運行する曜日が限られているから」といった理由が12~15%程度で続いている。

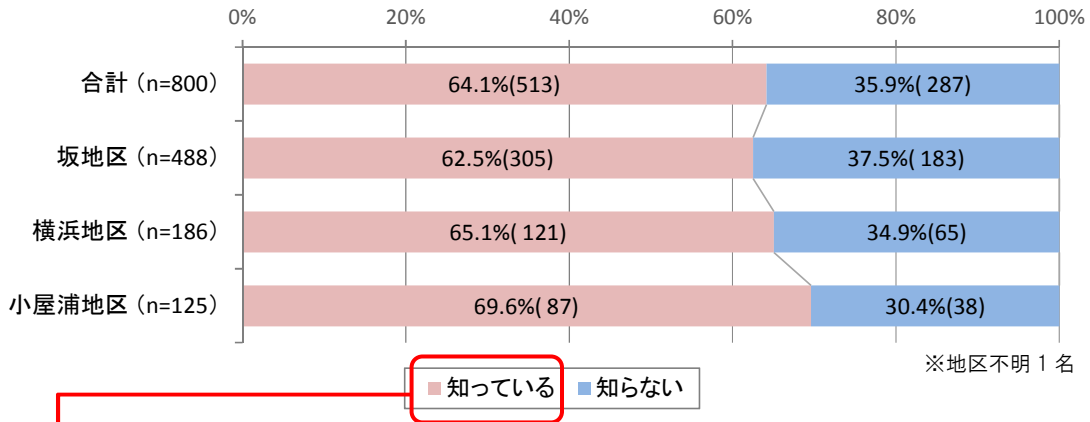


※地区不明1名

▲利用しない理由

## ② 運行内容変更の認知状況

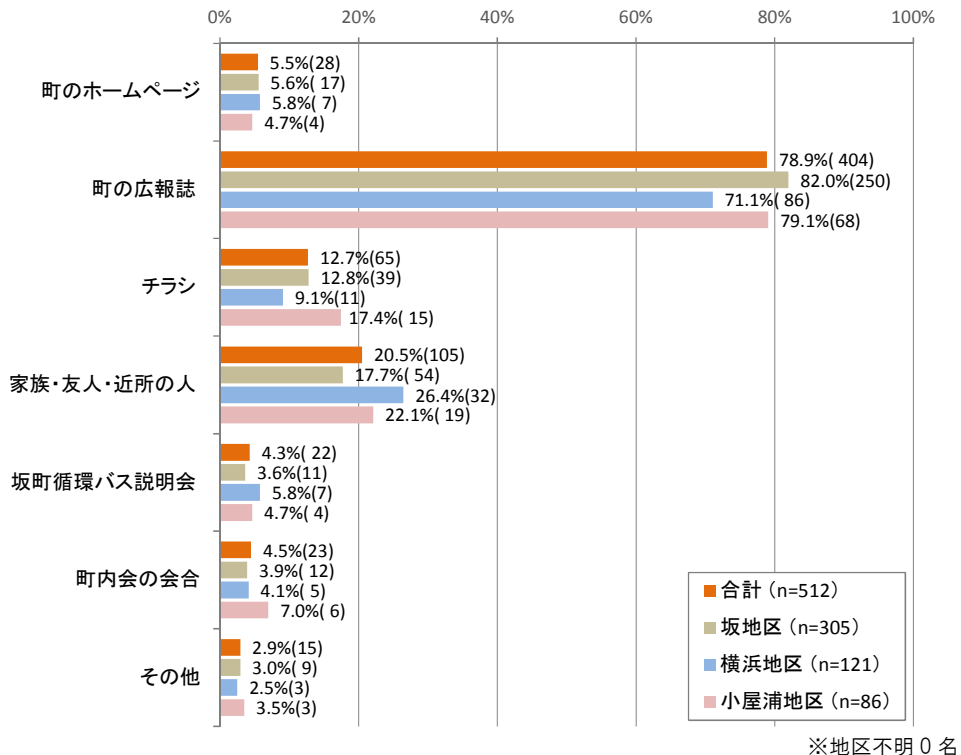
・坂町循環バスの運行内容変更について「知っている」と回答した人が地区合計で約6割（64.1%）となっている。



### ▲運行内容変更の認知状況

## ③ 認知媒体

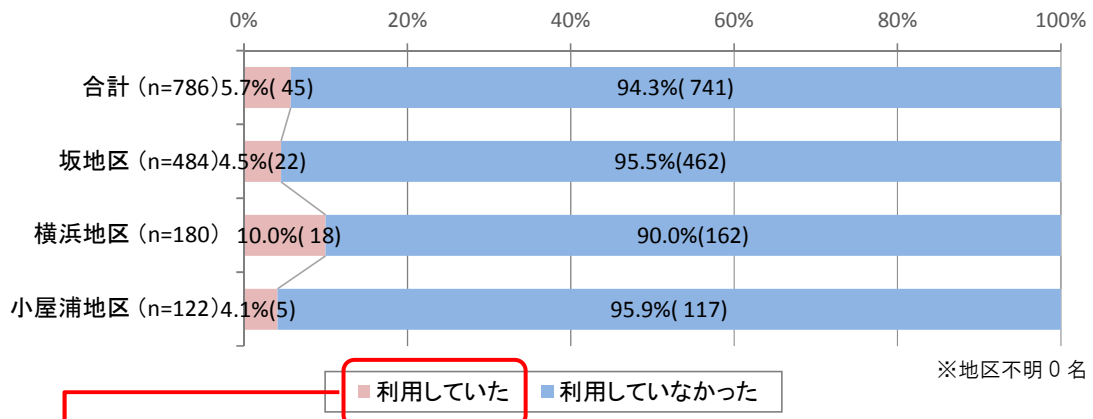
・運行内容の変更については、「町の広報誌」で知った人が最も多く地区全体で約8割（78.9%）となっており、次いで「家族・友人・近所の人」が約2割（20.5%）となっている。



### ▲運行内容変更についての認知媒体

#### ④ 運行内容変更前の利用状況

- ・運行内容変更前は坂町循環バスを利用していた人は地区全体で5.7%となっている。
- ・地区別でみると、横浜地区が10.0%と最も多くなっている。

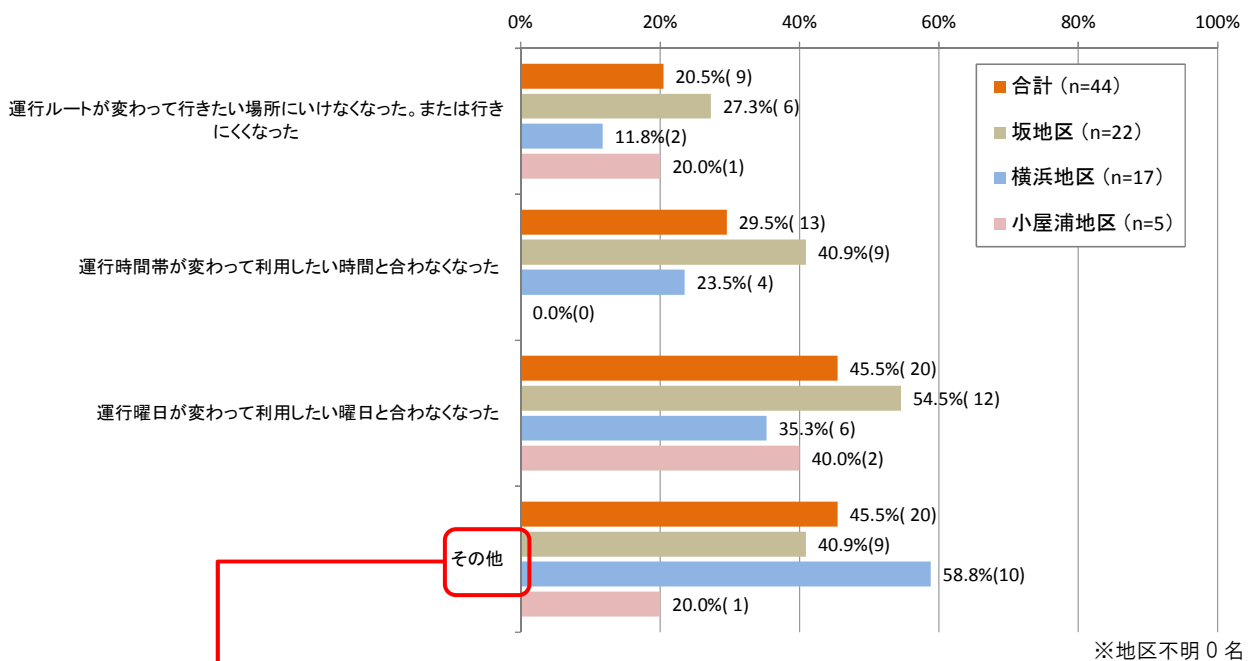


#### ▲運行内容変更前の利用状況

運行内容の変更により、  
坂町循環バスを利用しなくなった人

#### ③利用しなくなった理由

- ・利用しなくなった理由は、「運行曜日が変わって利用したい曜日と合わなくなった」が最も多く地区全体で約4割（45.5%）となっている。
- ・「その他」を選んだ人の理由には、「満員で乗れない可能性があるため」という意見や、「運行日が分かりづらい」という意見があった。



#### ▲利用しなくなった理由

「その他」の主な理由について、次ページに示す。

### ▼「その他」の主な理由

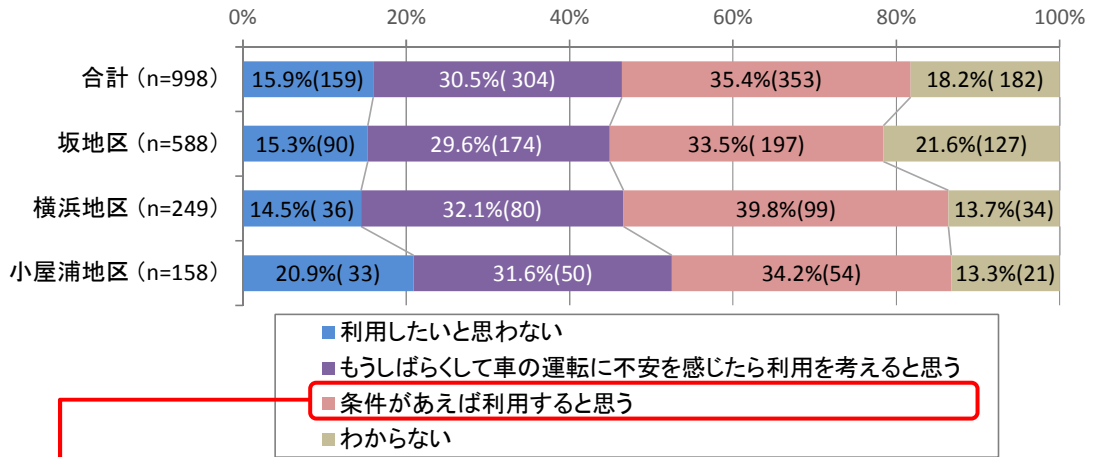
	利用しなくなった理由「その他」
1	足が弱ったので〔女性、80代、横浜地区〕
2	子供が大きくなり、自転車で移動できるようになったから。0才で自転車に乗せられないときはよく利用していました。〔女性、40代、坂地区〕
3	高校に通っていたから。たまに使っていた。〔女性、10代、横浜地区〕
4	利用する目的がなくなった〔女性、40代、坂地区〕
5	乗り残される恐れがある為、利用できない〔女性、80代、坂地区〕
6	外出しなくなった〔女性、80代、横浜地区〕
7	用事がない〔男性、70代、横浜地区〕
8	運行日がわかりづらい〔女性、80代、坂地区〕
9	夫の車で送迎するから〔女性、70代、横浜地区〕
10	足腰が悪くなって歩けないので〔女性、小屋浦地区〕
11	利用していたのは数年前〔男性、20代、坂地区〕
12	運転の荒さ〔女性、50代、横浜地区〕
13	済生会入院〔男性、60代、坂地区〕
14	利用する機会がない〔男性、10代、横浜地区〕
15	運行前は自転車だったので、時々利用していたが、変更後も、坂駅まで行くのに時間がかかるし、時間帯があわないので、バイクを利用するようになったから〔女性、40代、横浜地区〕
16	買物も駅も病院も主人に乗せてもらっています〔女性、70代、横浜地区〕
17	自分で運転をするようになった為〔女性、30代、坂地区〕
18	乗る用事がなかったから〔女性、60代、横浜地区〕
19	時間帯をかえました。〔女性、70代、坂地区〕
20	坂駅に行くことが多いが、バスに乗ると大廻りになるか、途中で下りて歩かないといけない〔男性、50代、横浜地区〕
21	要望が多いと不要になる〔男性、60代、坂地区〕
22	自動車があり、バスを利用する事がなくなった〔女性、30代、坂地区〕
23	北新地にある病院へ行かなくなった。〔女性、50代、横浜地区〕
24	知らない〔女性、70代、坂地区〕
25	運行ルートもバス停もどこにあるのかわからない〔女性、40代、坂地区〕
26	目的があまりなくなった〔女性、70代、小屋浦地区〕
27	子供が運んでくれるので〔女性、80代、坂地区〕
28	車に乗るようになった〔女性、40代、坂地区〕
29	使う必要がなくなった。〔男性、30代、横浜地区〕
30	利用したが満員で乗れなかった〔女性、70代、坂地区〕
31	時間がかかって利用しにくい〔女性、70代、坂地区〕
32	自動車を購入し、バスを利用しなくてもよくなったから〔女性、30代、横浜地区〕
33	ベビーカーをもっていくのが荷物になるから〔女性、30代、坂地区〕

■ H29.4の運行内容変更に関係する意見

## (7) 今後の利用意向と利用条件

### ① 坂町循環バスの今後の利用意向

- ・循環バスを利用しない人の利用意向は、「条件があれば利用すると思う」と回答した人が35.4%と最も多くなっている。
- ・約3割(30.5%)の回答者が「もう少しばかりして車の運転に不安を感じたら利用を考えるとと思う」と回答した。

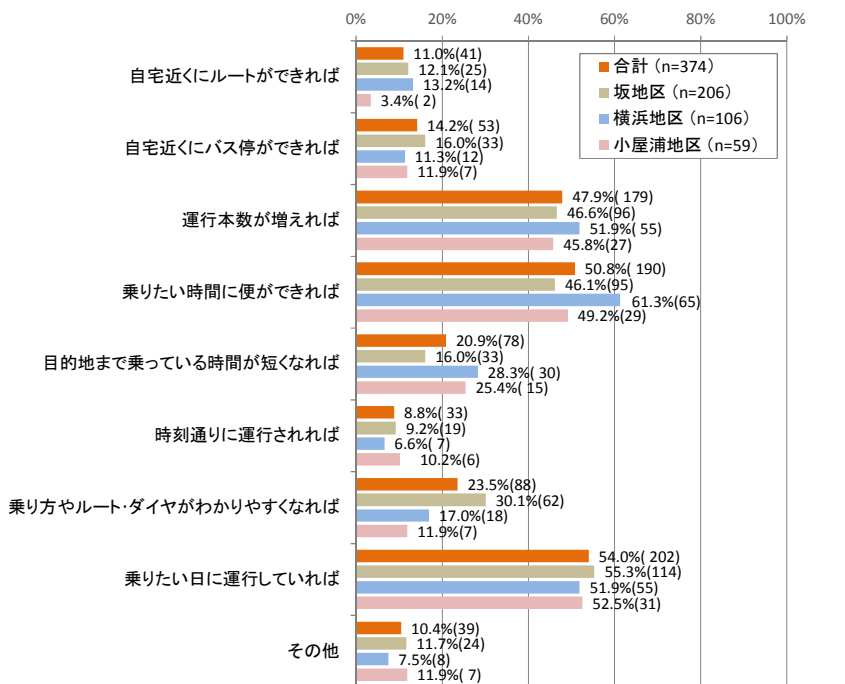


※地区不明3名

### ▲坂町循環バスの今後の利用意向

### ② 坂町循環バスの今後の利用条件

- ・今後利用するための条件を聞いたところ、「運行本数が増えれば」、「乗りたい時間に便ができれば」、「乗りたい日に運行していれば」と回答した人がいずれも約5割程度となり最も多くなっている。

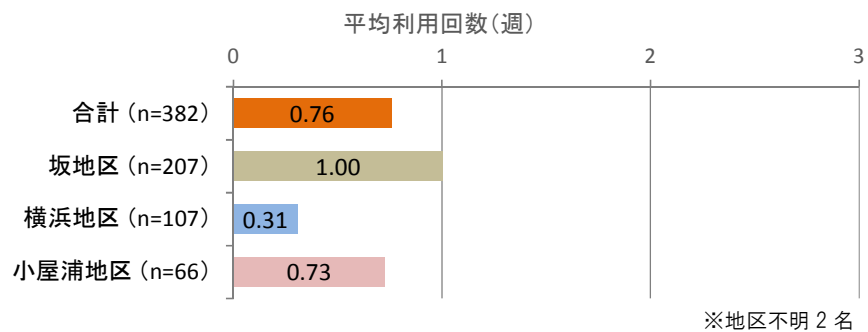


※地区不明3名

### ▲坂町循環バスの今後の利用条件

### ③ 希望された今後の利用頻度

- ・「条件があえば利用する」と回答した人に、希望する条件で坂町循環バスが運行された場合の利用頻度を聞いたところ、合計では1週間あたり0.76回という結果になった。
- ・横浜地区は週0.31回と、他地区に比べ少ない結果となっている。



#### ▲坂町循環バスの今後の利用頻度